

第 10 章

宇宙人のテクノロジー

10.1 宇宙人の姿

さて、いよいよ実際の宇宙人の話に入る。

宇宙人はどのような姿をしているのだろうか？

むろん、私はその答えを知らない。見たことがないからだ。したがって、この問題に答えるには、実際に宇宙人に会ったり見たりした人間に聞くほかはない。

米軍のインサイダーにクリフォード・ストーン博士がいる。彼はスティーブン・グリア博士の「ディスクロージャー」で証言した。その証言にあるように、これまでこの地球上には57種類ほどが訪れたというのだ。

そして、そのタイプは大きく分けて、グレイ型と人間型と昆虫型の3種類いるようだ。グレイ型には、指が3本が一般的で、それ以外に5本指と6本指がいる。人間型には、アジア黄色人型、アフリカ黒人型、北欧白人型の3種類がいる。昆虫型には、バツタ型とカ

マキリ型があるようだ。そして、それぞれがさらに細かく分かれる。それ以外に、プラズマ型というのか、形態のはっきりしないタイプもいるようだ。いずれにせよ、カタログを実際にみた人でないと正確なイメージを行うことは難しい。

クリフォード・ストーン博士は、実際に分類された文書を見ただけのようだが、実際にあった人が必要になる。

宇宙人にあった人といっても、単に拉致された人。宇宙人のサンプルになった人。ごく一般の科学者でない人。こういった人々は恐怖心で一杯だ。だから、こういう人々の話には限界がある。浦島太郎ではだめなのだ。

実際に科学者が必要だ。科学者で宇宙人に会った人。中でも宇宙人といっしょに研究活動した科学者。あるいは、宇宙人の船で宇宙を旅してきた科学者。いわば、咸臨丸でアメリカ・サンフランシスコへ行った勝海舟のような人。こういう科学者でないと何もわからない。

実は、そういう人がいるのだ。それが、IQ300 といわれるピート・ピーターソン博士だ。この人物が、デービッド・ウィルコックのコズミックディスクロージャーにずっと出ていたのだ。

その番組の中で、ピート・ピーターソン博士は、実際に自分が見た数々の宇宙人から、その特徴を語る部分があるのだ*1*2。

ピート・ピーターソン博士は極秘宇宙計画*3の主要科学者だっ

*1 【ピート・ピーターソンと 3 本指の ET たちとの出会い／ナスカで見つかった 3 本指のヒューマノイド・ミイラ】 コズミック・ディスクロージャー：シーズン 8、エピソード 12; <https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>.

*2 「コズミック・ディスクロージャ」; <https://spherebeingalliance.com/blog>.

*3 Secret Space Program (SSP)



図 10.1 IQ300 といわれるピート・ピーターソン博士
ピート・ピーターソンと 3 本指の ET たちとの出会い／ナ
スカで見つかった 3 本指のヒューマノイド・ミイラ】 コズ
ミック・ディスクロージャー：シーズン 8、エピソード 12
<https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>

た。彼によれば、この宇宙で最も普遍的に存在する宇宙生命体は、人型で、指が 3 本の宇宙人であるというのだ。つまり、3 本指の宇宙人だ。そう、よく言われてきた、グレイタイプ、レプティリアンタイプなどのことだ。

クリフォード・ストーン博士の証言にあるように、これまでこの地球上には 57 種類ほどが訪れた。ところが、それらのほとんどが 3 本指を持つ宇宙人だったのだ。人間型、つまり、地球人型の 5 本指はかなり稀だという。

実際、我々地球人も最初は 6 本指だったのだ。特に西洋白人種（コーカソイド）がそうだった。事実、西洋の白人種の場合、いまでも 6 本指の人間が誕生することがある。6 本指の小指が退化して、使われなくなったのだ。

これが、普遍的な宇宙人の姿だ。

それが、昔のナスカの地上絵の地下にある古代遺跡からミイラとして発掘されたのだ。

それを引用して始めよう。

10.2 3本指宇宙人のミイラ

この地球上で3本指のミイラが見つかったことは知っているだろうか？

デービッド・ウィルコックのコズミックディスクロージャーのピート・ピーターソン博士との対話^{*4} ^{*5}によれば、米軍は1960年頃、ナスカの地上絵のある場所の地下に巨大なトンネル網があることを発見したのだ。

ウィルコック: ガイアの新しいシリーズ「ナスカを掘り起こす」があります。私たちは、ナスカ高原と関係がある本当に魅力的なものについて議論しています。そして私は好奇心がそそられています。インサイダーの世界であなたの経験上、誰かナスカの地上絵とその地域の奇妙な地質学的特徴を研究しようと思いましたか？

もしそうなら、彼らは何を見つけましたか？ 彼らの結論はどうでしたか？

^{*4} 【ピート・ピーターソンと3本指のETたちとの出会い／ナスカで見つかった3本指のヒューマノイド・ミイラ】 コズミック・ディスクロージャー：シーズン 8、エピソード 12; <https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>.

^{*5} 「コズミック・ディスクロージャ」; <https://spherebeingalliance.com/blog>.



図 10.2 ナスカの地上絵
ピート・ピーターソンと3本指のETたちとの出会い／
ナスカで見つかった3本指のヒューマノイド・ミイラ】
コズミック・ディスクロージャー：シーズン8、エピソード12
<https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>

P 博士： まあ、いくつかありますね。ナスカの線（地上絵）についてお話します。私は特にナスカのいくつかのトンネルを見るためにそこにいました。

ウィルコック： よろしい。

P 博士： それらは平らな底と、丸いトップでまるで焼き立てのパンのようです。そして、明らかに、ある種のエネルギー機械、例えばレーザーマシン、または非常に高い熱を発生させるものによって作られました。

ウィルコック： それらはどこの地域の下にありましたか？

P 博士： それは下に…

ウィルコック： …ナスカの地上絵の下に？

P 博士: そのエリアはすべてが何マイルも何マイルも、そして何マイルもですよ。

ウィルコック: はい。

P 博士: そしてそれはその下にあります。私はそれらは、はるかに新しい、ラインよりもはるかに新しいと思う。

(中略)

ウィルコック: よろしい。では私からの質問です。これらのミイラで見つかった内いくつかは、レプタリアンタイプです。私は強い好奇心があります。政府のワークでも ET に遭遇することができたので、3本指を持つ存在を見たことがありますか？ まずそれから始めましょう。

P 博士: はい。

ウィルコック: よろしい。そして彼らはどのように見えるますか？ 私達に教えてもらえますか？

P 博士: 彼らは非常に細い、長い腕、長い指、長い脚、長い体です。

ウィルコック: 「ナスカを掘り起こす」にあるものは、それらが地球上で成長したと思いますか、あなたはどう思いますか？…

P 博士: いいえ。

ウィルコック: いいえ？

P 博士: まあ、私は彼らが一定の期間にわたってやったと確信していますが、彼らはここ（地球）の出ではありません。

ウィルコック: よろしい。

P 博士: 進化の記録がないのです。

ウィルコック: 質問です。これは興味深い質問です。



図 10.3 M. K. ジェシー博士
ピート・ピーターソンと3本指のETたちとの出会い／
ナスカで見つかった3本指のヒューマノイド・ミイラ】コ
ズミック・ディスクロージャー：シーズン8、エピソード12
<https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>

M. K. ジェシーはコロラドの放射線医です。ミイラのX線を見るためにそこへミイラを持ち込みました。そして彼女が指摘したもっとも奇妙な異常の1つは、それは恐怖の対象ではないと思いますが、頭蓋骨に頭蓋骨の縫合がないということでした。

頭蓋骨に亀裂のない、大きな1つのピースであるように見えます。

P 博士： はい。

ウィルコック： それはどのように考えられますか？ どうやって成長するのでしょうか？

P 博士： それは単に遺伝学です。すべてが共通であるという事実です。…彼らは私たちに近いかもしれません。彼ら

は私たちの銀河系に居ます外銀河に比べ（より近い）。通常は外銀河です…実際、科学の他の分野では、銀河系外のものには本当に違っています。

ウィルコック： はい。

P 博士： しかし、それらの多くは 2 つの目、2 つの鼻孔、2 つの耳、2 つの聴覚物、2 つの腕、2 つの脚を有する。そして、非常に多くの異なるものが広がっているという事実は、私にとって驚くべきことです。ミイラはそのはずだと証言しています…ご存知の様に、彼らはいくつか（の星）から来ている必要があります…基本的な形式または機能として。

ウィルコック： 人間の青写真のようなものはありますか？

P 博士： まあ、はい。よろしい。

ウィルコック： ヒューマノイド。

P 博士： 私たちはそれを人間の青写真と呼んでいます。遺伝的な青写真があります…それはかなりよく続いたように見えます。

さて、私たちは結局人類学や考古学の研究で見つけ出すかもしれません…ちょうどそのフォームが最も効果的だったことがわかります。

ウィルコック： はい。

P 博士： だから自然の進化は、私たちが今見ているものに向かって進んでいたということです。

ウィルコック： 私たちが「マリア」と呼んでいるミイラは、「ナスカを掘り起こす」の中で、耳の周りに脂肪組織を持っていません。実際には耳が全くありません。



図 10.4 宇宙人のミイラ「マリア」
ピート・ピーターソンと3本指のETたちとの出会い／
ナスカで見つかった3本指のヒューマノイド・ミイラ】コ
ズミック・ディスクロージャー：シーズン8、エピソード12
<https://mizu8882.blog.fc2.com/blog-entry-2223.html>

これは、より空気力学的な外観を示しているようであり、それは水生生物であるか、または空気中を急速に移動する存在である可能性があります。私はあなたの考えに興味があります。

P 博士： さて、私はあなたが望むならば、多くの異なる種族の写真や例を見たことがあります。我々はそれらを種族 (race) と呼ぶ。いくつかは水生生物に由来することは明らかです。水中から来ていない、鳥や昆虫のようなものもあることは明らかです。

彼らは水かきがあり、水中から来たように見えるものがあります。彼らには腕があるかもしれませんが、水かきがあります。[ピートは、身体を低くして腕を動かす一泳ぐ真似を

する。]

ウィルコック: はい。

P 博士: 彼らはミックスになるように造られました。

ウィルコック: はい。

P 博士: そして、非常に厚い大気を持つ人間の住める惑星があります。

ウィルコック: はい!

P 博士: つまり、温度がそこにあるということで人類の生活を支えてくれるのです。重力はそれほど強くないか、少なすぎない。

ウィルコック: だから、必ずしもゴールドロックス（ちょうどよい）の原則である必要はないと言っています。それは、大気が私たちと大きく違う惑星でも、あなたはまだ知的な人生を持つことができるということです。

P 博士: ああ、絶対に。私は私が感じているものを見ました…知的な人々だった…2つの目を持っていません。

ウィルコック: はい。

P 博士: そして、あなたが見た人物の耳に脂肪組織がない話は、高度な生命体であると解かります。それらの多く…リモートビューワーが遠くの場所を訪問し始めたとき、彼らは「ギャラクティック・センター」から遠く離れていくにつれて、声帯と耳でコミュニケーションする必要性を失い、言葉以外で伝達されます。

ウィルコック: あー。

P 博士: そして彼らの耳…それは、進化がそれを耳を取り除いたところに向かって進みました…

ウィルコック: わおー!

P 博士: …声の和音をやめました。そして、あなたはまた、それらの人々がこれまでに他の方法で進化したことを知っています。私たちが彼らとコミュニケーションする時は、パーキングメーターや古いフェンスのポストと話すようなものです。

そして我々は続けることができない…サンスクリット語を除いて、ここにある私たちの言語は、間違いなく世界共通語です…知る限り約 7200 年前からあります。そして、7200 年の間に、彼らはフライング・ソーサーの作り方を正確に説明していました。

ウィルコック: はい。ではあなたが個人的に会った地球外生命体についてももう少し話しましょう。あなたが個人的に見た 3 本指の ET に関する情報をいくつか教えていただけますか？

P 博士: 私は 3 本指型の ET を 3 種類見てきました…

ウィルコック: よろしい。

P 博士: …彼らは基本的に情報を交換したり、集めたりするためにここに来ていました…私たちは、彼らが興味を持っている DNA を持つ多くの身体を持っています。再生の可能性が非常にあります。

ウィルコック: これらの 3 つのタイプのものがどのように見えるかを具体的に、記述することができますか？

P 博士: 3 本指のものうちのいくつか…私の仕事は主にクラフトのコントロールをリバースエンジニアリングすることであることを覚えていますね。

ウィルコック: よろしい。

P 博士: だから私たちが飛行機と呼ぶもののほとんどすべてのように、3本指の存在のためのコントロールパネルを持っていました。

ウィルコック: ほぼすべてのフライング・ソーサーには、3本指のコントロールパネルがありましたか？

P 博士: そう。

ウィルコック: 本当に？

P 博士: そうだった…私が言うように。

ウィルコック: これらの存在には3つのつま先がありますか？

P 博士: 私が3本指の ET で見た、すべての存在は3つのつま先を持っていたので、普遍的なものでした。(後略)

10.3 3本指宇宙人の円盤の操縦席

さて、実際の宇宙人は大半が3本指のものだ。

だとしたら、彼らの円盤の操縦席はどのようなものなのだろうか？

むろん、私はその答えを知らない。見たことがないからだ。したがって、この問題に答える場合も、実際に宇宙人の円盤を捉え、円盤の中に入った人物に聞くほかない。

実は、私が知る限りでは、そういう人は2人いる。彼らはジェーソンスカラーだ。むろん、実際には、インサイダーのジェーソンスカラーは非常に数が多い。だから、他にもたくさん見た人間はいる

だろう。しかしながら、表の社会に堂々とそれを暴露した人は少ないのだ。

一人がデービッド・アデア博士 (図 7.11)。デービッド・アデア博士の場合は、少年の頃、天才少年としてエリア 51 の基地内に入ったときに、現場の科学者から許可されて円盤内部に入ったのだ。

もう一人が、上述のピート・ピーターソン博士だ (図 7.13, 図 10.1)。ピート・ピーターソン博士の場合は、その当時は、絶対非公開情報として、バックエンジニアリングの作業の一環として円盤の中に入ったのだ。

彼らが発見したのは、地球の飛行機の操縦席のようなものではなかった。操縦席には、一見するとほとんど何もなかった。しかしよく目を凝らしてみると、前に2つの手形跡のような窪みがあった。それらは、両手のそれぞれの“3本指”の手形のようなものなのだ。どうやら宇宙人は、その窪みの上に両手をはめるように置くのだ。そして、あとは心と円盤を共鳴させて、テレパシーで円盤を飛ばすようなのだ。

10.4 3本指宇宙人の操縦法

その時の具体的な状況は、デービッド・ウィルコックの「コズミックディスクロージャー」で、かなりわかりやすく話している^{*6*7}。

^{*6} ピート・ピーターソンに聞く、三本指宇宙人のテクノロジー【コズミック・ディスクロージャ】；<https://keen-area.net/2017/344/>.

^{*7} Keen-Area News「ピート・ピーターソンに聞く、三本指宇宙人のテクノロジー【コズミック・ディスクロージャ：Season 7, Episode 31】」；<https://www.youtube.com/watch?v=giSmU6E2gek>.

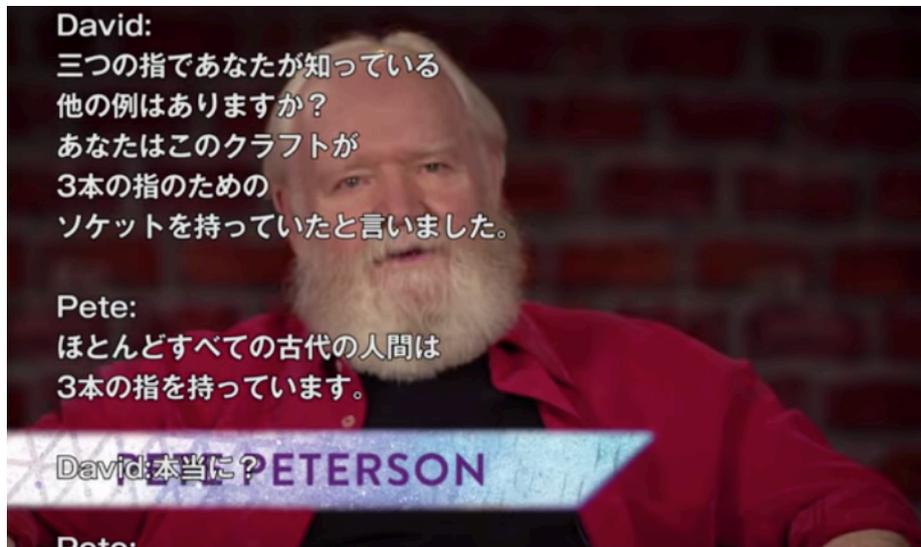


図 10.5 ピート・ピータソンとデービッド・ウィルコック
ピート・ピータソンに聞く、三本指宇宙人のテクノロジー【コズミック・ディスクロージャ】
<https://www.youtube.com/watch?v=giSmU6E2gek>
<https://keen-area.net/2017/344/>

その一部を引用しよう。

ピート・ピータソンに聞く、三本指宇宙人のテクノロジー
【コズミック・ディスクロージャ】

ウィルコック： 私たちは南極大陸の墜落について話していました。

あなたは、植物に覆われた南極大陸の表面に墜落したことを、深いレベルで言及しました。そして、あなたは2回目にクラッシュしたクラフトをより多く調べたと言いました。

お話の中で本当に魅力的なものの一つは、3本の長い指を持つ存在のためのコントロールがあるということです。

これには本当に興味深い結びつきがたくさんあります。そして、我々はまた、^{てい}底3の数学*8と、おそらく、この理想的な数学から私たちに混乱させるために5本の指を与えられたという考えについて話していました。

あなたの友人が発見したというこの3つの数学の実際的な応用は何でしょうか？

私たちがそれを使い始めると、技術的なブレイクスルーや科学的なブレイクスルーにはどんなことが起こりますか？

P 博士: 近い将来には、おそらく世界の数学者の半分が激しくそれに抗議するだろう。もう半分はすぐにそれを認めるでしょう。

彼はそれを一連のチャート、チャートの数字、そして異なる数字と異なるポイントを異なる色で解説しているので簡単に理解できます。

そして、私たちは「まあ、これ（その数学）で可能なことはすべてここにあります」と言うことを試みようとしています。

今は、それで可能になるものの1%も想像することさえできません。それは、宇宙の表現上の見方を変えるものです。数学は言語です。

ウィルコック: よろしい。

P 博士: 数値的なことについて話すことができる方法で

*8 日本語ではベースを^{てい}底と呼ぶ。

す。それは科学の言語です。

それは、私たちが科学、生物学的事などで行うことのほとんどすべてについて話す方法です。

私たちが持っているあらゆる形の工学は変わるでしょう。私たちが今までにできなかったことが、子供たちによって瞬時に実行可能になるでしょう。

ウィルコック: 三つの指であなたが知っている他の例はありますか？

あなたはこのクラフトが3本の指のためのソケットを持っていたと言いました。

P 博士: ほとんどすべての古代の人間は3本の指を持っています。

ウィルコック: 本当に？

P 博士: 私たちはサンプルを持っています。

ウィルコック: 本当に？

P 博士: 私たちは、3本指のコントロールを持っている、エイリアン・クラフトのこと以外は知りません。

ウィルコック: それ以外無いんですか？

P 博士: ありませんでした。

ウィルコック: 本当に？

P 博士: ジョイスティックはありません。手、手首、手、指の動き…私が言ったように、ほぼすべてのエイリアンは非常に、非常に似た装置を持っています。それはずっと3つの指を持っているということだけです…それ以上のものであるか、確認するには十分です。

そして、扱いが簡単です。頭の中で3本の指で計算する方

が簡単です。

ウィルコック: これを見ている人々の中には、3本の指では知的な発展はできないと言う人もいるでしょう。

なぜなら従来の人類学者は、向かい合った親指で把持すると、道具を作ったり知能開発ができたと考えているからです。

P 博士: それは1つではなく2つの反対の指を持っていることを除いて、それは正しい - 親指が2倍です。

ウィルコック: 本当に? したがって、両側の指は親指のように働くのですね。

P 博士: 親指のように。

ウィルコック: はい。

P 博士: そして、彼らの多くは親指のように左右からつかみます。つまり、指が横についている。

彼らは並んだ3本の指ではありません。[ピートは手の真ん中3本の指を持ちます。]

ウィルコック: はい。

P 博士: ちょうどこんな3本の指です。[ピートは親指と人差し指を片手で持ち、もう片手の親指を人差し指の隣に置く。]

ウィルコック: はい、面白い。南極の第2層に何が発見されたのか、もう少し教えてください。

Pete: そのコントロールは、まるでリビングの一部の様に、外面を制御して、シップにコマンドを与えていました…

ウィルコック: 説明を。

P 博士: …空気力学を変える

ウィルコック: どのようにコマンドを与えることができますか？

P 博士: 精神的に。しかし、あなたもすることができます…当初は、これらの制御システムを使用していました。(3本指の) 新しいものはほとんど精神的に行われます。

ウィルコック: ワオー！ これらの三つ指の存在は今日でもまだありますか？

P 博士: 彼らの大部分に。

ウィルコック: 殆どに？ よろしい。

P 博士: はい。

10.5 エリア 5 1 とエリア 5 2

ところで、かつての戦前戦中の連合軍には、ちょっと変わった部隊があった*⁹。撃墜した日本の戦闘機や爆撃機を集めて復元するのだ。それは連合軍の一部だが、オーストラリアの中央部の砂漠地帯にあったようだ。そこで、撃墜したゼロ戦を集め、それらを復元し、ゼロ戦の性能を分析したのだ。それを基にして、連合軍の米戦闘機のグラマンやムスタング製作へ応用した。こうして、いつしかゼロ戦は米戦闘機に簡単には勝てなくなったのだ。

実は、この連合軍の部隊が、その経験を活かし戦後別の目的の舞台へと再編成された。今度は、宇宙人の乗ったロズウェルの墜落円盤からそれを復元する任務の部隊に変わったのだ。つまり、反重力エンジンの複製だ。これが、オーストラリアのエリア 5 2 という地

*⁹ アクタン・ゼロ; <https://ja.wikipedia.org/wiki/アクタン・ゼロ>。



図 10.6 アクタン・ゼロ

<https://ja.wikipedia.org/wiki/アクタン・ゼロ>

域である。このことは、スタン・デヨ博士が表に出るまで誰も知らなかったことなのだ。

そこで教育された研究者や工学者が今度は本国のエリア 5 1 の地下基地で同様の仕事についたのだ。ピート・ピーターソン博士は、アイゼンハワーの宇宙人との交換留学から戻った後で、そうした部隊に加わったのだ。

この部分の破片は、ロズウェル事件の破損部品として、コーソ大佐の時代およびそれ以前の 1941～42 年頃から集積された。こうした破損部品から、バックエンジニアリングで、円盤を日本の金継ぎのようにして元通りに再構築すること。これが、IQ300 の超天才白人のピート・ピーターソン博士の任務だったのだ。

その結果、徐々に円盤破損パーツの目的や意図が分かるようになった。そのおかげで、アメリカ国内のベル研や IBM 研究所やロ

スアラモス研究所に以下のようなさまざまな研究テーマが生まれたのだ。

- ・ シリコンやゲルマニウムの半導体
- ・ トランジスターの発明
- ・ 超電導の解明
- ・ レーザーの発明
- ・ 形状記憶合金の発明
- ・ 集積回路 IC や LSI の発明
- ・ 発光ダイオード (LED) の発明
- ・ インターカレーション化合物の発明
- ・ リチウムイオン電池の発明
- ・ アモルファス薄膜の発明
- ・ 脳波コントローラ
- ・ インターネット
- ・ 光コンピュータ
- ・ 量子コンピュータ
- ・ 人工知能...

最近では、修理の必要がない、

- ・ 自己複製機械
- ・ 自己再生するコンクリート
- ・ マイクロマシン

こういったものまで研究されているのだ。空飛ぶ円盤の外壁がそういう構造物だったのだ。多少の破損は自動的に直す。生物細胞のような機械である。

いうまでもなく、表の科学界にいる普通の科学者たちは、こういうテーマを自分たちが生み出したものだと考えている。しかしなが

ら、なぜそういうテーマが重要なのかという問題意識がどこから生まれたかについては知らない。

特に、日本人科学者の場合はそうだ。なぜなら、日本の科学者は欧米にキャッチアップ。これが戦後レジームのテーゼだったからだ。

科学は大きな方向性さえ与えれば、あとは時間が解決する。そういう面がある。だから、最初の発想のヒントさえ与えられたら良いのだ。しかし、それを見つけ出すことがむずかしいのだ。アメリカからどんどん新しい考えが出てきたのは、ロズウェルの墜落円盤を解読するという任務があったからなのだ。日本にはそういうものはなかった。だから、根本的に科学に対する認識が違うのだ。



図 10.7 アイアンドーム

<https://ja.wikipedia.org/wiki/アイアンドーム>

最近では、イスラエルとレバノンの戦争が再開された。しかし、

2021年の今年には、イスラエル政府は宇宙人との共同研究をしていると噂されている。そのイスラエルの世界最先端を行く科学技術の前では、レバノンの通常兵器は無力に見える。現在のイスラエル軍は、アイアンドーム^{*10}という防衛網を持っている。これは、ニコラ・テスラの言っていたデスレイの防空網そのもののように見えるのだ。レバノンのミサイルがことごとく着弾しないではるか上空で、何かにぶつかったように消えてなくなるのだ^{*11}。

10.6 3本指宇宙人の科学

はたして3本指の数学とはどのようなものなのだろうか？

私個人はこれに非常に関心がある。

かつてニコラ・テスラが若い頃、この世のすべてを3の倍数で表示することに凝った時期がある(第2章 2.1.2)。この話は、その後ニコラ・テスラがかなり壮年になった頃にまたリバイバルしたようだ。彼は、この世界は369の働きが解かれればすべて理解できると考えて、次のように言った。

あなたが3・6・9という数字の素晴らしさを知れば、宇宙への鍵を手にするようになる。

それ以来、世界の多くのニコラ・テスラのファンたちがいろんなことを考えた。その中で、数論的な意味では、おそらくこれが非常に興味深い。

^{*10} <https://ja.wikipedia.org/wiki/アイアンドーム>

^{*11} Three iron dome shooting down rockets right next to the Gaza strip
By peleg4623000; <https://imgur.com/gallery/LFlz7qj#3tTlgGH>

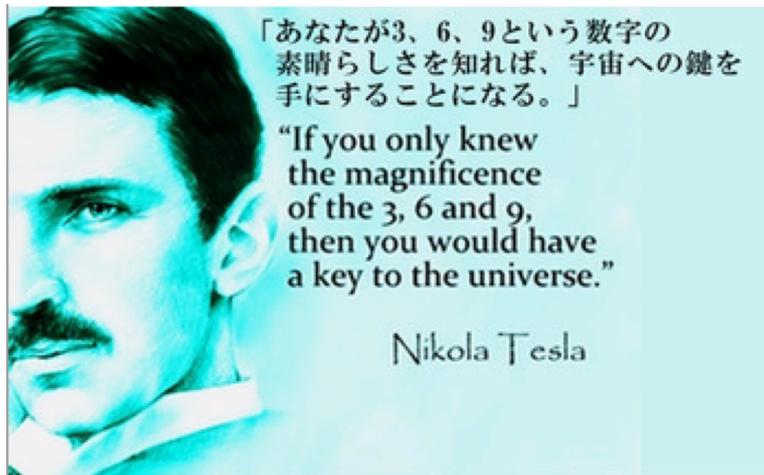


図 10.8 3 6 9 の 法 則

<https://beauty.hotpepper.jp/slnH000239164/blog/bidA034374738.html>

<https://ichimokusan.info/nikoratesla369/>

3・6・9 という数字は、私たちの日常のさまざまな場所で現れる。例えば、時計の文字盤の4つの基準、3時、6時、9時、12時(1+2=3)。

また、369は時計の時間の基準にもなっている。例えば、1分60秒、1時間60分、1日24時間(2+4=6)だ。

通貨にも現れる。例えば、日本円の硬貨の和では、 $1+5+10+50+100+500=666$ 。硬貨は円形が普通だ。しかし、円の一周の角度は 360° (3+6=9)だ。

人体にも現れる。平均体温は 36° (3+6=9)だ。平均脈拍は72回/分(7+2=9)だ。私の場合は、平均脈拍は60回/分(6+0=6)なのだ。

また、数学の倍数について考える。3・6・9の倍数だけが、不思議な事が起こるといふのだ。

例えば、1から9の数字に3・6・9をそれぞれ掛けてみよう。

3 の倍数 = 3 6 9 12 15 18 21 24 27

6 の倍数 = 6 12 18 24 30 36 42 48 54

9 の倍数 = 9 18 27 36 45 54 63 72 81

ここでそれぞれの桁の数字を足して 1 桁の数字にする。例えば、12 は $1+2 = 3$ にする。

3 の倍数 = 3 6 9 3 6 9 3 6 9

6 の倍数 = 6 3 9 6 3 9 6 3 9

9 の倍数 = 9 9 9 9 9 9 9 9 9

なにやら奇妙な法則が出来上がるというわけだ。しかも、9 は全部 9 になる。

そこで、1 ~ 9 までを時計の文字のように円周上に均等に並べてみよう。こうすると、3 6 9 は正三角形を作る。この上で 3 の倍数

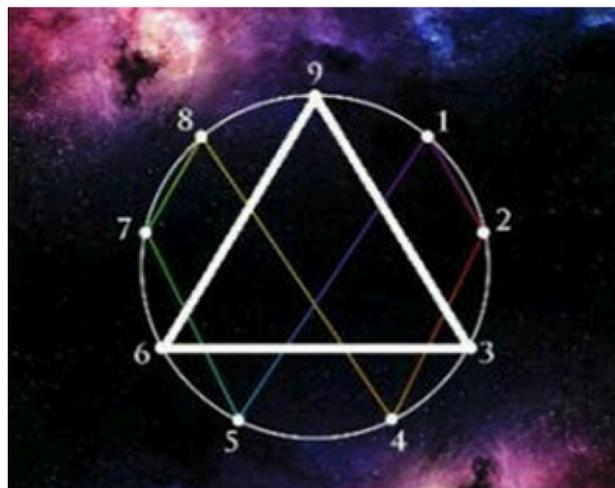


図 10.9 9 までの時計文字盤

<https://beauty.hotpepper.jp/slnH000239164/blog/bidA034374738.html>

を考えると、3 6 9 3 6 9... と時計回り (右回り) の回転になる。逆に、6 の倍数は、6 3 9 6 3 9.. と反時計回り (左回り) の回転に

なる、9の倍数は、9の固定点になる。

これは、光の偏光を思い起こさせるものがある。光子には、右偏光と左偏光がある。これは、光子がマックスウェルの横波の電磁場の量子だからだ。光子が進行する場合、進行方向に垂直の方向に振動する。その振動方向が右回りに回転しながら右螺旋のように振動する場合を右偏光と定義する。この逆が左偏光なのだ。横波のヘルツ波の量子（光子）の場合はこれで終わりだ。しかし、もし縦波のテスラ波の量子を考慮する場合、これが固定点の9を表すとみても良さそうだ。つまり、369を基本にする数学は、光を基本にする数学と見ることができのかもしれない。

それに対して、我々の数学は10進法の偶数を基盤にしている。この一番単純化したものが、2進法である。10進法は2進法に簡略化される。だから、コンピュータ言語の一番下のレベルは2進法で記述される。これはオンオフの2状態で決まる。オンオフの場合、あるなしのことだから、01の数字で記述できる。ここに、電子の数学（電子があるなしの数学）に転化できるわけだ。

以上を言い換えれば、我々地球人の数学は^{エレクトロン}電子の数学に対応する。一方、宇宙人の数学は^{フォトン}光子の数学に対応する。このようにまとめられそうだ。

前に見たように、宇宙を運航するには、すべてが光のようになる必要がある。なぜなら、超高周波高電圧の反重力エンジンで飛ぶのだ。だから、計算機は光を使った計算が必要になる。つまり、光学的計算機が必要になる。

質量のある電子は、遅い速度の飛行には適しているかもしれない。しかし、光速度に近くなれば、質量が変化し、問題が起こる。

さらに負電荷を持つために超高周波高電圧の反重力エンジンがかかれば、即座に機能停止してしまうだろう。

この意味で、宇宙に出るには、光計算機、光アルゴリズムが必要なるはずだ。光子は無電荷で無質量だ。おそらく、宇宙人の手が3本指で十分だったという理由は、この世界の基本が光であるからだと考えられるのだ。

この電気のスイッチのオンオフの2状態の問題は、電子のスピンアップダウンにも対応する。電子のスピンは $S = 1/2$ である。この量子力学的な縮重度 g は $g = 2S + 1$ である。したがって、電子の縮重度は $g = 2 \times 1/2 + 1 = 2$ になる。つまり、アップダウンの2状態になる。

一方、光子の場合スピンは $S = 1$ である。したがって、光子の縮重度は $g = 2 \times 1 + 1 = 3$ になる。つまり、右回転、左回転、回転なしの3状態になるわけだ。これに3の倍数、6の倍数、9の倍数が対応すると考えられるのだ。

問題は、いま現在のマックスウェル方程式の理解の仕方では、この9の倍数にあたる無偏光の状態、すなわち縦波状態が無視されていることになる。光子のエネルギーはディスページョンレスといって、波数に比例する。右回転の横波フォトン、正の波数に比例したエネルギー $E_+ = pc$ を持つ。左回転の横波フォトン、負の波数に比例したエネルギー $E_- = -pc$ を持つ。比例係数 c は真空中の光速度になる。ところが、無回転の縦偏光の縦波フォトン、エ

エネルギーがゼロ $E_0 = 0$ なのだ。これをゼロモードという*¹² *¹³。これは、第5章でみたように、普通のマックスウェル方程式では、オランダ人ローレンツゲージで除去しているのだ。

おそらく、デービッド・ウィルコックの番組で、この部分をピート・ピーターソン博士が語っている部分がある*¹⁴*¹⁵。そこを引用してみよう。

ウィルコック: 確かに。さあ、本題に戻ります。あなたはこの存在に3本の指があると言った。あなたは2本の親指で、彼らは(パネルに)押し込んだと言いました。

P 博士: はい。

ウィルコック: それで船を実際にコントロールする方法についての情報をもっと教えてください。

P 博士: まあ、それは私の仕事でした。指でどうやってコントロールするんだ? そしてそれはシートではなくて、手を埋め込むタイプのパネル…彼らは私たちと幾分似ていました。だから腑に落ちた。

*¹² コンスタンチネス・マギアリ著「量子力学(上)」(共立出版, 1974年). 149ページ; コンスタンチネス・マギアリ著「量子力学(下)」(共立出版, 1974年). 176~179ページ.

*¹³ R. H. Good, Jr., "Particle Aspect of the Electromagnetic Field Equations", Phys. Rev. **105**(6), 1914 (1957).

*¹⁴ 私たちは6万7000年前に、ピラミッドを作ったエイリアンによって、6本指から5本指にDNA改変された!! 【コスミック・ディスクロージャ: Season 7, Episode 30】; <https://www.youtube.com/watch?v=FvgHsq8hblg&t=0s>.

*¹⁵ 私たちは6万7000年前に、ピラミッドを作ったエイリアンによって、6本指から5本指にDNA改変された!! 【コスミック・ディスクロージャ: Season 7, Episode 30】; <https://keen-area.net/2017/342/>.

そして、手がちょうどそれに収まる感じで、肘にフィットするようなクランプがあった。前腕に丁度合う長さで、それを下に降ろして使う。

そして軽くストレスを与えて使う。(訳注：フライバイワイヤのような使い方) もしくは持たなくても使えただろう。何故なら軽いクランプだから。

ウィルコック: 本当にリアルですね。指は私たちよりも長かったのですか？

P 博士: イエス。はるかに大きい。かなり大きい！

ウィルコック: 本当？

P 博士: おそらくそれはこの位。[ピートは指と指を広げて約 8 インチの距離を表示します。]

ウィルコック: ワオ！ よろしい。

P 博士: そして両側の短い指。

ウィルコック: 私は彼らが船をどのように操縦したかを理解できないんです。

P 博士: まあ、彼らは指を動かしました。

ウィルコック: それでどうなります？

P 博士: 船を制御するすべてのもの、すべて。

ウィルコック: よろしい。ワオ！

P 博士: うん。手を収めるユニットは、片面の手袋のようなものでした。実際のユニットは指だけでなく全体が移動したので、より多くの制御パラメータがありました。

一つは安定を、一つは仰角を、そして一つはスピードを制御しました。

ウィルコック: 指にはどれくらいの関節があったので

しょうか？

P 博士： 私が見たところでは、彼らが似ているのは…関節ではなく、ワームやヘビのようにできています。しかし、私の理解では、彼らには彼らの関節があったということです。

ウィルコック： もしこれらの存在に3本の指があり、私たちが5本の指を持っている。という理論があるとすれば、何らかの形で私たちのDNAを意図的に改変しましたか？

P 博士： それがバベルの塔のすべてです。私は、私と一緒に働いていた数学者/哲学者を見てきました…私が見たのは…

過去に見た事から、過去にバベルの塔とその言語を混乱させることは、私達にとっては意味がありませんでした。

沢山の事が起こりました。言語を変えることよりも、はるかに多くの事が発生しました。

ウィルコック： はい。馬鹿な事を言わせてもらえば、誰でも、子供でも理解するでしょう。8歳の子供がいるとして、—私は彼らがばかだと言っているわけではありませんが—

彼らはバベルの塔について聞いたことがないかもしれません。

ある時には皆が同じ言語を話し、お互いに話すことができたという考えがあります。そして、何かが起こって、私たちは別々の言語を持ち、離れて広がったのですか？

P 博士： いいや。

ウィルコック： よろしい。

P 博士： そうじゃない。

ウィルコック： バベルの塔は何だったのか説明できま

すか？

P 博士： それはまったく別のやり方だった。

ウィルコック： オー！

P 博士： 誰もが、すべての異なる人種は、光年、または何百万光年先から来ました。彼らはすべて全く異なる言語を持っていました。

私たちは地球上で共通の言語を持っていました。地球上には数多くの宇宙人がいました。そして、私たちは話すことを学ぶように…アフリカには共通言語があります。スワヒリ語は共通の言語です。

ウィルコック： では、あなたは、地球上に居る地球外の移民すべてのための共通の言葉を作る試みがあったと言っているのですか？

P 博士： 考えればそれが自然な事。

ウィルコック： では、それは 5 本の指とどのように関連していましたか？

P 博士： そうそれが私の考える事。

ウィルコック： よろしい。

P 博士： そこに行きつきます。

ウィルコック： よろしい。

P 博士： そう。だから私は私たちの言語を混乱させるはずだったバベルの塔を見ている。それは私にとって科学的・数学的には全く意味を持たなかった。

だから私はどこで学ぶつもりか？ まあ、私は、バチカン図書館にはタワーというタワーの 80 % が含まれていることを知っています…またはアレクサンドリアの大図書館、燃え

なかった部分。

しかし、私たちは地球上に住んでいて、地球上を走り回り、住んでいる数多くの人々を経験しました。そして私は言いました。それが意味をなさなかったので、私がする必要があるので、バベルの塔で起こったことを見ることです。

そして私が見つけたのは、彼らがしなかったものでした…彼らは言語の一部を変更しました。そう、彼らはそれらのいくつかを混乱させました。しかし、彼らも…彼らがした主な事柄は、カウントベースを変更したことです。あなたは0から5の数学で事を行うことができるので、それは世界のすべての意味になりました。

あなたはそれを使って何かをできます。それなしでできることは全く異なります。そしてそれは非常に微妙ですが、非常に重要です。それはあらゆるものを科学的に変えます。

ウィルコック: そういう意味で5本の指の発達が理由で理想的な数学を捨て去ったと言っていますか？

P 博士: 3を使うことができるか、6を使うことができるかで、私たちは完全に投げ捨てました。それはちょうど2つの3です。

ウィルコック: はい。

P 博士: 2つの5なら10になる。

ウィルコック: これだった…あなたはこれを考えていますか？…この決定で私たちに5本の指を与えたならば、それは自発的に行われたと思いますか？

P 博士: いいえ、自発的ではありませんでした。彼らは単に私たちを変えました-ブームで！

ウィルコック: よろしい。なぜ彼らは地球上の人々を混乱させたいのですか? 目標は何でしょうか?

P 博士: 人間、または知的な存在の哲学はほとんど同じですから。私たちは生き残ろうとし始めました。そして私たちは生存の仕組みを持つ必要がありました。そして数学を思いついた。

そして、私たちがやったことなど、工学や物事を行うためには数学が必要でした。底の数字は任意の底で行うことができます。

ウィルコック: はい。

P 博士: 私たちのデジタル世界のすべてが底 2。0 と 1 のようにです。

ウィルコック: 数字 3 について何が特別なのですか? この番号体系に本質的なもの 3 とは何ですか?

P 博士: よろしい。わたしは知っている限り、情報の世界については何も知らない。情報の世界とは私たちが住んでいる世界の構造です。

3 は宇宙全体の構造です。宇宙のすべてが 3 のように見えます。

ウィルコック: いくつかの例は何ですか?

P 博士: サイズ、形、重力、旅行、光の速度、光、エレクトロニクス、あなたが知っている、すべて。宇宙の物理的なものはすべて 3 に基づいています。

それはすべてのポイントです、どれくらいの数であっても意味があります…例えばあなたが…私は海兵隊で 10 年を過ごしました。そして、あなたは 1 人が 3 人をコントロールで

きることを学びます。

ウィルコック: フ〜ム。

P 博士: あなたは小隊司令官を1人持っており、彼は3つの分隊を持っています。各チームには3つのファイアチームがいます。各消防チームには3人の人がいます。

そして歴史の中で、ほとんどすべての教会の構造を見て、法王を持っていることが解ります。そして、あなたが知っていることを繰り返し知ります。そして、彼らは副司教を持っています。それはどこにでもあります。

そして、宇宙の情報のタイリングは、6面のタイル上にあります。サッカーボールのようなものです…

ウィルコック: はい。

P 博士: …これは6面のデバイスを作るための3つの三角形です。だから3、6、12を使うことができます。

見てください…最後の番号を取る。それは10ではない、それは9。1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9である。

ウィルコック: なるほど。

P 博士: あなたは9を見ます。9の1倍は9、2の3倍は6。9の2倍は6の3倍です。6 + 3は何を意味する? 9。

3の二乗は? 9。5を見れば45。5 + 4も9だ。

ウィルコック: はい。

P 博士: 9×7 を取れば63。6 + 3は9。

だから、ネットに織り込まれているように、それがベースネットとしてどのように広がるのかはとても面白い。ネット全体は3に基づいています。どこでも、あなたは6面でジャンクションに…それは6面のタイルです。

それらのタイルの並んでいるところでは、3つの接合点を持っています。(訳注：つまり6面体の接合点は3)すべての交差点には3つのものが集まっています。

ウィルコック：これがフラクタル数学と関係があるのかわりか不思議ですね。そのマンデルブロ集合を拡大すると、同じ構造が何度も何度も現れるのを見続けるからです。

P 博士：はい、それが基本なら、それはすべて6面であることがわかります。

ウィルコック：ああ！あなたはテスラが3について何を言ったのか考えていますか？

P 博士：私の祖父はコロラドスプリングスのテスラの右腕だった男です。私はそのすべての情報を持っていて、私が子供のころから教えられました。そして、はい、テスラは知っていました。

テスラはエンジニアの一人でしたが、明らかに訪問しました。

ウィルコック：なるほど。

P 博士：彼はそれを理解しました。しかし、それは彼ら(カバール側)にとって不幸なことでした。そうです…ハ、ハ。(訳注：これは苦笑い)

彼は私たちの地獄を怖がっていたので、そして彼は一生上手くいかなかった。

ウィルコック：うーん。オーライ。そろそろ時間が無くなりました。南極に関する話や、3の魅力的な話、そして生理学に組み込まれ、自然にそうした方法を数えた人たちについては、さらに多くの話があります。

10.7 バックミンスター・フラーのシナジェティクス

ところで、シナジー^{*16}という言葉聞いたことがあるだろうか？ たぶん、ご存知だろう。石油メーカーではCMに使っている。

物性物理学者なら、シナジェティクス^{*17}といえば、ドイツのヘルマン・ハーケン博士^{*18}を思い出すに違いない。これは非線形非平衡系の物理学の分野を意味する。だから、たいていの日本の物理学者は、ヘルマン・ハーケン博士が、この分野の呼び名として創始したのだと思っているはずだ。しかし、それは誤解だ。たしかに、この言葉を物理に使ったのはヘルマン・ハーケン博士が最初だった。しかし、20世紀の建築家バックミンスター・フラーが一番最初にこの言葉を生み出し、世界に普及させたのだ。ただ長らくバックミンスター・フラーの講演や建築の世界の話に使われた。また、資料がバックミンスター・フラー研究所内に置かれたただけだった。そのために、書籍としての出版が遅かったのだ^{*19*20*21*22}。

*16 Synergy

*17 Synergetics

*18 Hermann Haken, 1927年7月12日 - ; <https://ja.wikipedia.org/wiki/ヘルマン・ハーケン>.

*19 Richard Buckminster Fuller, *Explorations in the Geometry of Thinking: Synergetics*, (Macmillan Publishing Company, NY, 1975).

*20 R・バックミンスター・フラー著/梶川泰司訳「クリティカル・パス—宇宙船地球号のデザインサイエンス革命」(白揚社, 新装版, 2007年).

*21 ジェイ・ボールドウィン 著/梶川泰司訳「バックミンスター・フラーの世界—21世紀エコロジー・デザインへの先駆」(美術出版社, 2001年). 他多数.

*22 井口和基著「フラーとカウフマンの世界」(太陽書房, 新潟, 2004年).

このフラーが作った言葉や概念に、次のような有名なものがある。

- ・ダイマキシオン
- ・オクテットトラス
- ・システムキッチン
- ・ユニットバス
- ・フラードーム
- ・シナジー*23
- ・シナジェティクス
- ・プリセッション
- ・インテグリティー*24
- ・テンセグリティー*25
- ・コスモグラフィー
- ・シナリオ宇宙
- ・宇宙船地球号
- ・Think global, Act local

私には、3本指の宇宙人の数学思想とこのフラーの思想には非常に似たところがあると思うのだ。

フラーは子供の頃、学校の数学の先生に向かって、こういうようなことを言ったというのだ。

「先生、先生のいう直線を黒板に書いてみてください」

先生が早速黒板にチョークで線を引いて

*23 synergy = synthesis × energy.

*24 integrity = integral × unity.

*25 tensegrity = tension × integrity

「フラー君、これが直線だよ」という。すると、フラーは
「先生の本いた直線は、有限の長さの線分でしかたないですよ。また有限の太さがあるし、しかもよく見れば、くねくね曲がつている。だから、数学の直線ではありませんとよ。書けないでしよ。」

先生が言う。

「それは、頭の中で定義する数学の定義なんだ。無限に細い、無限に長い、無限にまっすぐに線を想像してみなさい。君には想像力がないのかね？」

フラーが言う。「先生のいう数学は実際にはありえませんとよ。だから、数学は間違っています。」

さすがに先生が怒る。こうして、フラー君ついに学校では厄介者扱いされてしまう。

子供の頃のフラーの考え方は、ハーバード大学へ行って、さらに進化する。そうして、超一流ハーバード大の教授とまたまた同じようにやりあった。そうして、ついに問題児、大学不適格とされ、ハーバード大を追放されたのだ。

そこから、フラーは自分自身で自分の数学を作り上げていく。すべてを人間が実際に作ることのできる有限の線分だけで構築する数学である。それが、シナジェティクスなのである。

$$1 + 1 = 4 \quad (10.1)$$

これが、彼の数学の基本だ。これを数字だとみれば、

$$1 + 1 = 2 \quad (10.2)$$

とは異なる。しかし、両辺は幾何学的3次元図形を表すとすれば、そうではなくなるのだ。つまり、数字としてみれば、非線形ということになる。

しかしながら、(10.1) は同じ非線形でも

$$1 + 1 = 3 \quad (10.3)$$

とは異なる。非線形物理学者のヘルマン・ハーケン博士の言ったシナジェティクスはこっちの意味だ。

バックミンスター・フラースは次のように考える。左辺の“1”は正三角形1個を意味する。正三角形は3本の辺からできている。これは1個の面(1面体)を意味する。だから、左辺は「正三角形+正三角形」=「面+面」=「1面体+1面体」という意味なのだ。

その正三角形の面の1つの辺を外し、ねじれ3辺形を作る。つまり、正三角形はねじれ3辺形になる。したがって、左辺の“1+1”とは「1面体+1面体」=「右ねじれ3辺形+左ねじれ3辺形」と変形できる。すると、右辺は正四面体が1個できる。これは面が4個ある。つまり、フラースの式(10.1)は「1面体+1面体」=「四面体」という意味なのだ。つまり、(10.1)は、

$$1 \text{ 面体} + 1 \text{ 面体} = \text{四面体} \quad (10.4)$$

なのだ。だから、フラースの非線形の意味は、右辺は4でなければ困る。3や5や他のなんでもあっても良いというわけではない。こうしたシンボリックな代数は、幾何学的共鳴を扱う。こういう数学はいまの我々の地球の数学にはない。ほとんど進歩していないのだ。

こうして、バックミンスター・フラースは、彼独特の正三角形と正四面体を基調にした有限立体数学を構築した。この結果生まれたのが、あのフラードーム建築だったというわけだ。

いざフラースのシナジェティクスの数学や幾何学が生まれると、それが自然界には至るところに存在する事がわかってきたのだ。ミクロ

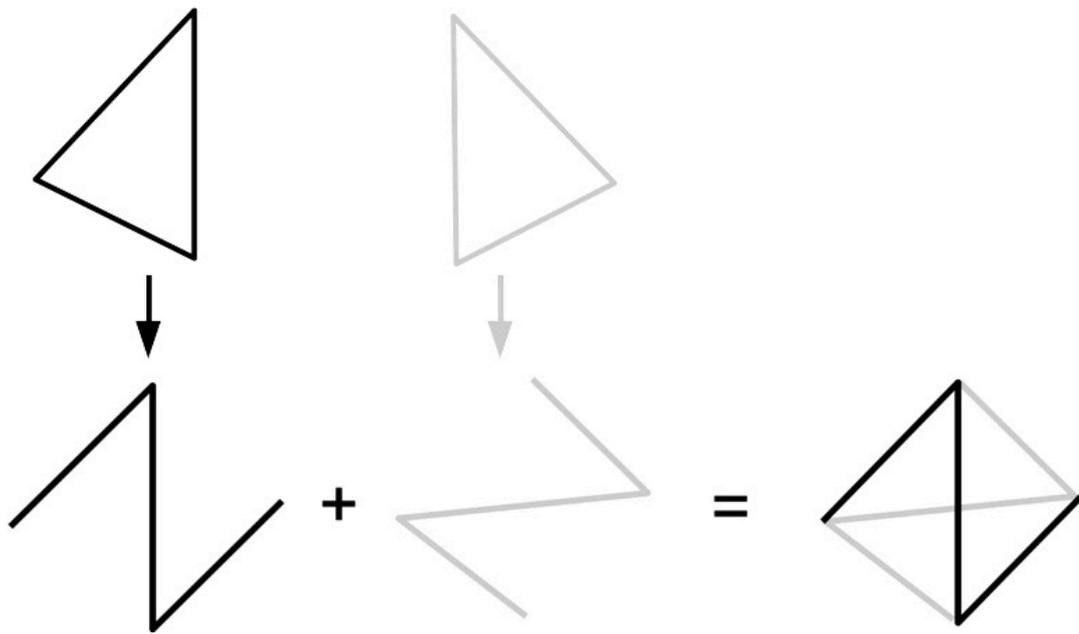


図 10.10 $1 + 1 = 4$ は 1 面体 + 1 面体 = 四面体を意味する。

からマクロまで、普遍的に存在したのだ。この一つが、60個の炭素原子でできたミクロのサッカーボール。これがフラレンと名付けられた理由なのだ。こうして、バックミンスター・フラーは、線分や正三角形や正四面体を基本にした有限幾何学こそ、この宇宙の基本思想に違いないと人々に説いて回ったのだ。

10.8 3本指宇宙人の反重力の原理

さて、3本指宇宙人の反重力の原理とはどんなものなのだろうか？

これが一番知りたいところだ。これについても SSP のインサイダーの観察が一番だ。だから、ピート・ピーターソン博士のように IQ300 レベルの ACIO のメンバーあたりからの情報がほしい。さ

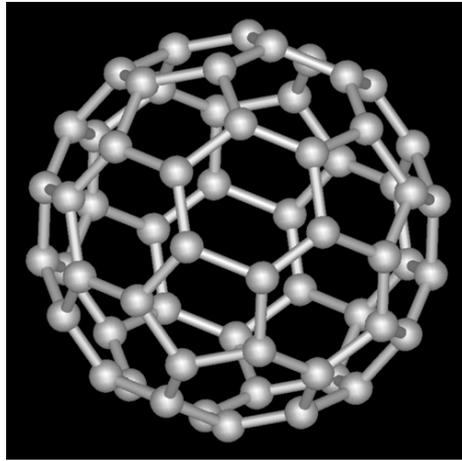


図 10.11 フラ ー レ ン (炭 素 原 子 60 個 で で き る サ ッ カ ー ボ ー ル 構 造)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/フラーレン>

もなくば、それを理解することは難しいはずだ。しかしながら、そのピート・ピーターソン博士ですら、3本指宇宙人の UFO の原理は理解し難いらしい。

これまでの地球人の宇宙人から学んだ方法は、主に 4 種類だ。

1. 電磁流体力学エンジン (マーク・マッキヤンドリッシュ博士のフラックスライナーエンジン)
2. プルトニウムの核融合エンジン (ボブ・ラザー博士のフュージョンエンジン)
3. 仮想フィールド流体力学波エンジン (サルバトーレ・セザール・パイス博士のゲルトセンシュテイン効果 Tr3B エンジン)
4. 生きている反重力エンジン (デービッド・アデア博士のシンビオティックエンジン)

いずれの場合も高周波高電圧や電子が円盤の周りに大量に生成さ

れるシステムである。我々はまだ電磁気学を本当には理解していない。我々が知ったものは、日常レベルの非常に低レベルの低電流低周波の電流回路の場合だけなのだ。

高周波高電圧になると、未知の現象が起こる。それは、我々の空間には、ニコラ・テスラが気づいていたように、エーテルが存在するからだ。

それ以外にまだ我々が理解していないものがある。それが、デービッド・アデア博士のシンビオティックエンジンの場合だ。これには、おそらく情報のフィールド (情報場) がある。この物質が生きているようなもの。我々地球人の物理学には、こういうものを扱う方法がないのだ。

ところが、ドイツ人の科学者トム・ストウニア博士は、地球人ながらそれに気づいていたらしいのだ*26。

彼が考えたものは、インフォンという情報場の量子である。これは、質量がゼロ、エネルギーがゼロ、運動量がゼロ、だから、波長は無限大。しかし、速度と方向は持つ。速度は有限で、方向は進行方向。つまり、縦波なのだ。

これは通常の電磁気学からはデンマーク人ローレンツ・ゲージのために除去される。だから、従来の電磁気学の標準理論では扱わない。しかしながら、このトム・ストウニア博士だけは、物質・エネルギー・情報を同じレベルの实在のものだと考えるのだ。

そして、実際にこの情報場というのか、あるいは、心魂場とでもいおうか、こういう未知のフィールドが、3本指宇宙人の円盤には張

*26 T. ストウニア著/立木教夫訳「情報物理学の探求」(シュプリンガー・フェアラーく東京, 1992年).

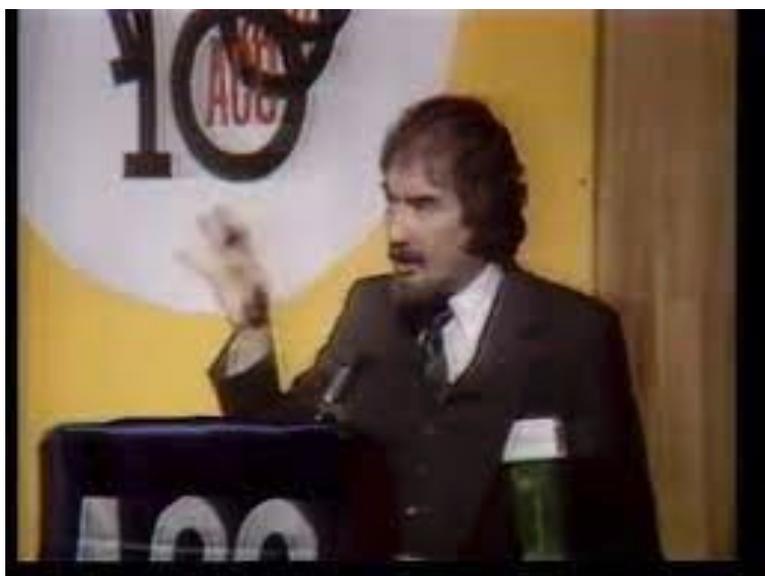


図 10.12 トム・テッド・ストウニア博士,
29 April 1927 - 15 June 1999
https://en.wikipedia.org/wiki/Tom_Stoen
Les Ummites
<https://www.youtube.com/watch?v=dELLJfk160g>

り付いているようなのだ。それなくして、彼らの円盤は動かないのだ。

なぜなら、円盤のすべてがそれぞれに生きている。そのためには、各パーツが自分の意識をもつ必要がある。意識を持つには情報場ないし心魂場が必要になる。そして、超高電圧高周波で光以上の速度で運行するには、物理的道具を使って円盤を操縦できない。だから、別の非物質的な世界を通じて通信しなければならない。

我々がおぼろげながら理解し始めたこの物質・エネルギー・情報を含み、その背後に存在するより深く広い世界を理解する必要があるのだ。

それは、単に湯川秀樹博士や保江邦夫博士の「素領域理論」や欧米の「超ひも理論」学者たちがいうような、物質と非物質というようなものではない。むしろ、その世界は我が国の古神道や密教でいうような大霊界の意味に近いのだ。したがって、宇宙人のブルーエイビアンという「一なるものの法則」というような考え方が存在するわけなのだ。

10.9 アジア人型の宇宙人「かぐや姫」

10.9.1 月の裏側の10億年前の遺跡

さて、アポロ20号というのは知っているだろうか？

「月面探査」のアポロ計画は一般的にはアポロ17号で打ち切られたとされている。しかし、実際にはアポロ20号まで行われたのだ。

なぜだったのだろうか？

その理由は、アポロ15号が月の裏側*²⁷で何か発見したのだ。それを秘密裏に探査するために、アポロ16号から20号まで極秘に計画遂行されたのだ。いまではそう考えられている。

それは何だったのか？

それは知的生命体の作った「遺構」や「遺物」のようなものだった。アポロ宇宙飛行士はその遺跡を覆っていた岩石や砂を持ち帰った。それらの石や砂から、年代を測定したところ、なんと10億年前の地層だったとわかったのである。

*²⁷ 地球から見えない月面



AS20 from frame 9625, Rev 15, NASA
Appollo 15 Mission
High resolution image showing detail of "alien craft"

NASA AS20 Rev 36 Scan 9025

図 10.13 月の裏側の 10 億年前のクレーターで発見された宇宙船 "Alien Spacecraft on Moon Video " Analyzed
<https://www.youtube.com/watch?v=wV7ROpHP6pM>

10.9.2 月の「かぐや姫」のミイラ

月の「かぐや姫」を見たことがあるだろうか？

実は、その遺跡は巨大な宇宙船だった。入り口があり、アポロ 20 号の宇宙飛行士たちはその内部に入ることができた。そこで、彼らは驚くべきものを発見したのだ。それは人型の宇宙人だった。アジア系の黄色人種の顔に似た、褐色の皮膚の女性の宇宙人のミイラだった。彼らはその女性の宇宙人を彼ら西洋人には馴染みの深い「モナリザ」と名付けた。

彼らは、その宇宙人をアポロ 20 号の探査機内へ慎重に運び出



図 10.14 発見されたままの「かぐや姫」；
顔になにかの保護装置がついている。
"Alien Spacecraft on Moon Video " Analyzed
<https://www.youtube.com/watch?v=wV7ROpHP6pM>

す。そして、機内で慎重にミイラ化した遺体のクリーニングを行ったのだ。そのすべてがビデオに録画された。それが、YouTube時代になって、何者かによりリークされたのだ。

顔にはなにか目鼻口の上に棒状の保護装置がついていた (図 10.14)。鼻には詰め物が入っていた。身体の表面にはなにかの保護剤が塗られていた。彼らは非常に慎重にそういうものを除去する作業を行った。そして、時間をかけて慎重に作業し、遺体の表面の処理を終えた。遺体の処理作業が終わった後の姿がこれだった (図 10.15)。おそらく、後で地球へ運ばれたのだろう。そして、地球の基地では、解剖されたのかもしれない。この部分についての情報はない。だから、いまどこにこのミイラの遺体が安置されているのかは分からない。

この宇宙人は、髪の毛は黒で皮膚が褐色で我々東洋人に非常に似



図 10.15 顔の処理の終わった「かぐや姫」
"Alien Spacecraft on Moon Video " Analyzed
<https://www.youtube.com/watch?v=wV7ROpHP6pM>

ている。実にかわいらしい女性である。いますぐにも目を開いてハローと言いききなほどにリアルである。北中南米のインディアンやインディオ、中国や日本などアジアの国の女の子なら、どこにでもいそいな子のように見える。違いがあるとすれば、俗にいう「第三の目」という、額の中央部に何かの突出があったことだろう。ひょっとすればそこに目があるのかもしれない。

したがって、かぐや姫伝説を知っている我々日本人の印象からすれば、「かぐや姫」と呼んだ方が適切に見える。「モナリザ」と呼ぶよりは、我々にはピンと来るのだ。

10.9.3 宇宙人母船の墜落

その後、何人もの宇宙人の死骸やミイラの存在が発見された。内部構造も分かってきた。その結果、その遺跡は宇宙人の母船のよう

なものであることがわかったのだ。

つまり、母船宇宙船は墜落したのだ。その結果、長い年月のうちに遺跡化したわけだ。

この場合の可能性は2つある。1つめは、母船は10億年前に墜落した。2つめは、もっと最近に墜落したが、墜落現場が10億年前の地層のクレーターに墜落した。これらのいずれかだろう。

いまのところそのどちらかは分かっていない。そこで、ここでは素朴に10億年前に墜落した方をとろう。

10.9.4 10億年前の宇宙人のテクノロジー

10億年前といえば、地球上はまだ生命が誕生する前と考えられている年代である。生命がいたとしても、海中の水生生物の先カンブリア紀と呼ばれる時代だ。三葉虫やアノマノカリスやナメクジウオとか、そういう生命の時代だった。

その時代にすでに都市国家のような巨大な1 km以上の長さの宇宙船で月に着陸した宇宙人がいたのだ。1 km以上の宇宙船のサイズは宇宙戦艦ヤマトの大きさの比ではない。小型円盤はその母船の前には小粒のノミやハエのようになんて見えてしまうのだ。

それが反重力エンジンを用いて、遙かに遠い場所から太陽系に飛んできたのだ。これはとてつもない文明の進歩と言えるだろう。このテクノロジーは全く未知である。その宇宙人の姿が、我々アジア人の方に似ていた。さすがにこれは西洋白人種は隠しておきたい事実だろう。

彼らはなぜ月へ落ちたのか？

それはいまは全くの謎だ。しかしながら、この後でみるプレアデ

ス人の語る宇宙の歴史を知れば、少しはその謎の一端を伺い知れるはずだ。

さて、なぜ我が国の月面探査機の名前が、わざわざ「かぐや」だったのだろうか？

単に我が国のかぐや姫の民話を基にしたというのだろうか？

初めての月面探査だから、別に民話に基づく必要性はなかったはずだ。例えば、JAXA(宇宙航空研究開発機構)がよくやるように、Moon 1号でも良かったはずだ。おそらく、以上でその理由が分かっただろう。日本の JAXA の一部の関係者はその事実を知っていたはずなのだ。

私の知り合いの人が、かぐやの月面撮影の処理前の生ビデオを見せてもらった人がいるのだ。その方の話では、生ビデオには非常に高解像度で“すべて”が映っていたというのだ。しかし、NHK のテレビ放送で流されたときには、遺跡のようなものはすべて綺麗サッパリ処理されていたのだ。解像度も非常に悪く、普通のアナログテレビ並みに落とされていたのだ。このことから日本の JAXA は NASA の下請けに過ぎないと言えるに違いない。

こういう発見は地球上で行われたわけではない。地球上におけるこうした遺物の発見は考古学に入る。したがって、こういう研究は「宇宙考古学」と呼ぶにふさわしい。したがって、我々は「宇宙考古学」という新しい学問分野を必要としているのだ。

10.9.5 南極の 10 億年前の地層

南極の氷の下の地層はどうなっているのだろうか？

これについては、やはりデービッド・ウィルコックの「コズミック

ク・ディスクロージャー」の話が参考になる。コーリー・グッド、エメリー・スミス、ランディー・クレマーやピート・ピーターソン博士の話が実に具体的だ*28 *29 *30。

実は、南極の氷の下には陸地があり、その厚さは4.5 kmほどあるようだ。その中に大まかに分けて3つの地層がある。その一番古い地層は10億年前～数億年前ほどのものだ。中間の地層は数億年前～2、3億年前のもの。そして一番上の新しい地層は2、3億年前から数万年前的ものようだ。むろん、言うまでもなく、表のアカデミズムの説明やそれに基づくネット内のウィキペディアの記載はかなり異なる*31。

この南極のそれぞれの時代の地層に UFO が埋まっていたということ知っているだろうか？

少なくとも異なる時代の3種類以上の宇宙人が母船で着陸した痕跡が残っているのだ。そして、いま DIA、軍産複合体、SSP などと呼ばれるグループが、それらを調査中だというのである。これは話が長くなるから、コズミックディスクロージャーやコーリー・グッドの本*32を読んでもらいたい。

この一番古い地層に、彼らが古代ビルダー種族プレアダマイトと呼ぶ宇宙人が半冬眠状態で見つかったのだ。その姿は、身長3.6

*28 「コズミック・ディスクロージャー：南極～新エリア 51」；<https://keen-area.net/2017/323/>.

*29 「南極：開示のプロセス（改訂版）」；<http://dwcges.blog.fc2.com/blog-entry-69.html>.

*30 「南極の秘密」シーズン 9, エピソード 10 ；
<http://dwcges.blog.fc2.com/blog-entry-6.html>.

*31 <https://ja.wikipedia.org/wiki/南極大陸>

*32 本はアマゾンから発禁本にされたようだ。

m～4.2mほどだった。そこで発見された子供の姿の見た目は、古代エジプトエジプト王のアメンホテプ4世やネフェルティティやその子供のメリトアテンとそっくりだったのだ。彼らの母船は

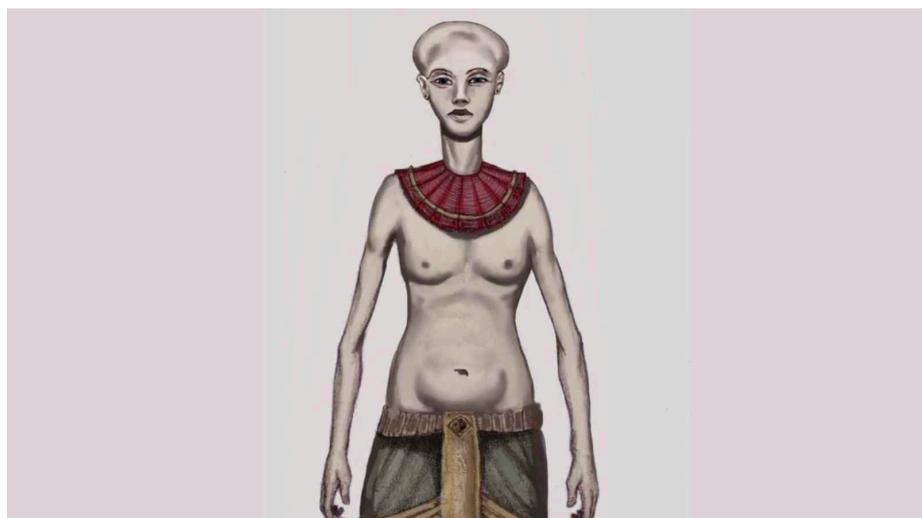


図 10.16 古代エジプトの王族の子供メリトアテン：古代ビルダー種族プレ・アダマイトは古代エジプトの王族に似ていた。「南極：開示のプロセス（改訂版）」
<http://dwcges.blog.fc2.com/blog-entry-69.html>

3隻あった。その長さは30マイル（約48km）だった。中には、古代インドの遺跡で見つかったヴィマーナそっくりの小型の宇宙船があったのだ。

彼らの話では、この種族は最初に火星とティアマト^{*33}に住んでいた。その後、何らかの理由で50万年ほど前に月に来た。それから、地球へ降り立った。

その後の彼らの調査では、彼らとレプティリアン種族の戦争があ

*33 小惑星帯になる前の惑星



図 10.17 古代エジプトの王
「南極：開示のプロセス（改訂版）」
<http://dwcges.blog.fc2.com/blog-entry-69.html>

り、その戦争に敗れて月や地球へ追われたのだ。

この古代ビルダー種族は、かなりアジア人に似ている。なぜなら、古代エジプト人の中でも古いものほど日本人に似ているからだ。このことから、この古代ビルダー種族の王家の子供王女が、月の裏側の母船で見つかった「かぐや姫」なのかもしれない。

この関係についてはまだ何も分かっていない。

この古代ビルダー種族、プレ・アダマイトは、保江邦夫博士の本にある、シリウスから母船でやってきた種族のことなのかもしれない。彼はアシュタールないしアシュター將軍と呼ばれた母船の船長の生まれ変わり説を唱えているからだ。その後、この船長が古代エジプトの官職についた。彼にはそういう系譜の前世記憶があるから

なのだ*34。

さらには、このストーリーはこの後語るスイス人宇宙人コンタクティーのビリー・マイヤーの話と一致するのだ。それは驚くべきことにコスミックディスクロージャーの始まる数十年前の出来事だった。

いずれにせよ、この古代ビルダー種族の科学技術は米軍 SSP が調査してきた中でもっとも進歩したものだといふのだ。だから、彼らは血眼になり、南極の地下に住み着いて探索した。そのせいで、掘削機の発する熱やエネルギーのせいで、その上にある南極の氷が溶け始めたのだ。彼らは決して地球温暖化のせいではないと言っているのだ。

また、これは次の話とも対応するのだ*35。

戦前、ナチスドイツのアドルフ・ヒトラーはインドへ調査隊を送った。古代遺跡を見つけ、そこで古代文明の空飛ぶ乗り物ヴィマーナの技術の文献を手に入れた。そして今度は、どういうわけか、すぐに南極探検に出かけた。その時、南極の地下に巨大な空洞があることを見つけた。そこにドイツ軍の秘密基地を作った。戦後、米ソは冷戦の最中、一番最初に南極探検を行った。それはドイツ軍の基地を探しに行ったからなのだ。

*34 保江邦夫著「伯家神道の祝之神事を授かった僕がなぜ/ハトホルの秘技 in ギザの大ピラミッド」(ヒカルランド、2013年)

*35 落合信彦著「20世紀最後の真実」(集英社、1980年)。

10.10 北欧人型の宇宙人ウンモ星人

10.10.1 白人そっくりの宇宙人の存在

もう一方の有力なタイプの宇宙人は、北欧系の白人種そっくりの宇宙人だ。かつて日本の UFO 番組で、出版社の人が、「宇宙人は人間そっくりでみただけでは判別できないんです」と答えた。すると、観客や出演者たちから、大笑いで笑いものにされた。そういう時代が長く続いたものだ。

我が国では、いまでもそう思っている。つまり、宇宙人というと、グレイ型だけだと洗脳されたからだ。この宇宙には我々の想像の及ばないレベルの文明があることを知らないからそういうことになる。カルダシェフ・スケールを思い出そう。我々の文明は、まだレベル0の動物惑星にすぎない。

北欧人型の宇宙人で一番有名になったのは、おそらく惑星ウンモから来た宇宙人ユミットだろう。フランス人理論物理学者のジャン＝ピエール・プチ博士^{*36}が、これを科学的に分析して本として公表した^{*37 *38 *39}。当時としてはかなり一流の現役の理論物理学者

^{*36} Jean-Pierre Petit; https://en.wikipedia.org/wiki/Jean-Pierre_Petit.

^{*37} ジャン＝ピエール・プチ著/中島 弘二 訳「宇宙人ユミットからの手紙—30年間 2000 通の秘密文書の謎を解明」(徳間書店, 1993年).

^{*38} ジャン＝ピエール・プチ著/中島 弘二 訳「宇宙人ユミットからの手紙〈2〉人類介入へ精密なるプログラム」(徳間書店, 1994年).

^{*39} ジャン＝ピエール・プチ著/中島 弘二 訳「宇宙人ユミットからの手紙〈3〉人類の脳に「種の絶滅コード」を発見」(徳間書店, 1998年).

が、こういう宇宙人暴露をしたことで全世界で話題になった^{*40*41}。

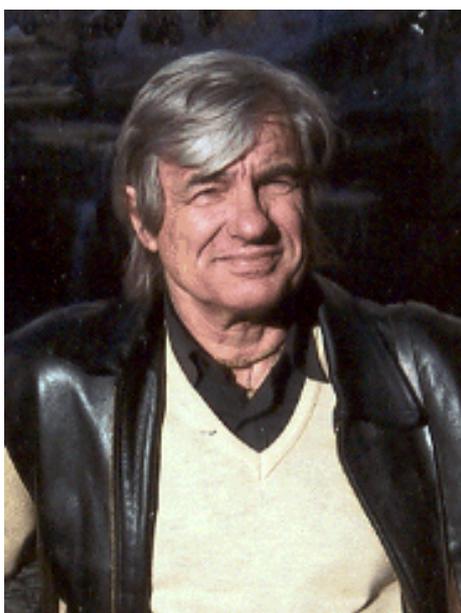


図 10.18 ジャン=ピエール・プチ博士

https://en.wikipedia.org/wiki/Jean-Pierre_Petit

Les

Ummites

https://www.youtube.com/watch?v=e1UC_vkSKrI&t=186s

詳細はジャン=ピエール・プチ博士の本を読めば分かることだ。1962年にセスマというスペイン人のところへ奇妙な手紙が届く。その相手はウンモという惑星から来た地球外生命体でユミットと名乗る。その後、ユミットとそのスペイン人は、6000通にも渡る手紙の文通を行う。その手紙にその宇宙人の文明や文化や風俗

^{*40} ジャン・ピエール・プチ博士の「宇宙人ユミット文明」;
<https://quasimoto.exblog.jp/10318617/>;
<https://www.youtube.com/watch?v=2ubLQTNhiek>.

^{*41} Les Ummites; https://www.youtube.com/watch?v=e1UC_vkSKrI&t=186s



図 10.19 ウンモ星人ユミット

https://www.agoracosmopolitan.com/news/headline_news/2018/07/29/13-ethical-extraterrestrials-watch-as-humans-allow-alien-take-over-of-ottawa-man-through-dreams.html

などさまざまなことが記載された。スペイン人は、科学的な内容が理解できないため、地球のさまざまな科学者にこの手紙の趣旨を送る。しかしながら、それを真に受けるものは皆無だった。ところが、フランス人の理論物理学者のジャン＝ピエール・プチ博士だけが、真面目に受け取る。彼はその膨大な手紙の科学的内容を18年に渡って2000通ほど分析したのだ。

その結果、そこに書かれた内容が地球の最新科学の結果からかなり辻褄の合うものであることがわかった。そればかりか、地球の科学文明よりさらに進んでいたのだ。その後、このユミットとジャン＝ピエール・プチ博士の間で文通が始まる。そこで、ジャン＝ピ

エール・プチ博士は実際にそのユミットの科学のアイデアに基づきモデル化し計算した。そして、その結果を自分の最新の論文として著名な科学雑誌に送ると、なんなく掲載された。それは既存の物理学にはない視点の非常に独創性の高いものになったのだ。

10.10.2 ウンモ星人の科学

そこで、ジャン＝ピエール・プチ博士が取り上げた物理の内容は、次のようなものだった。

- ・電磁流体力学 (MHD)
- ・双子宇宙論
- ・光速度の変化する宇宙モデル
- ・宇宙法則

ジャン＝ピエール・プチ博士が理解したこれらのユミットの科学は、博士の本の本文及び付録として公表されている。この科学的内容は、我々普通の理論物理学者にも理解できるものである。それで、私と保江邦夫博士との対談でも、取り上げたのである^{*42}。

彼らの船には、特有の日本語でいう漢字の「王」のようなマークが下面についているのである。

なぜなら、ユミットの科学は我々のものよりはるかに進んではいるが、それほどかけ離れたものではないからだ。彼らユミットの反重力は、電磁流体力学 (MHD) を中心にしたものである。

円盤の中心に電磁流体力学的な装置がある。これにより、円盤の

^{*42} 保江邦夫/井口和基著「物理で語り尽くす UFO・あの世・神様の世界」(ヒカルランド, 2015年).

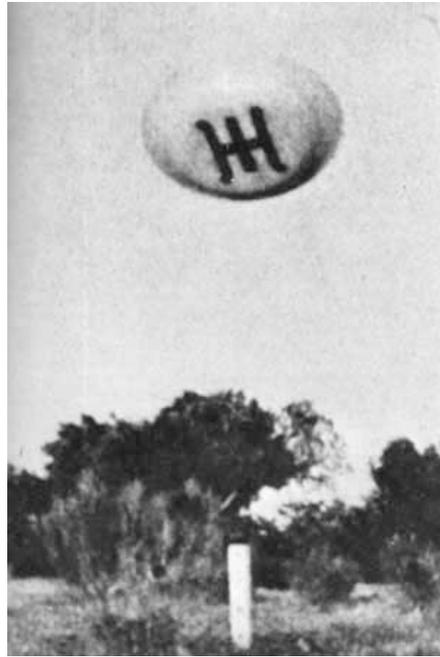


図 10.20 ウンモ星人の UFO

<https://quasimoto.exblog.jp/10318617/>

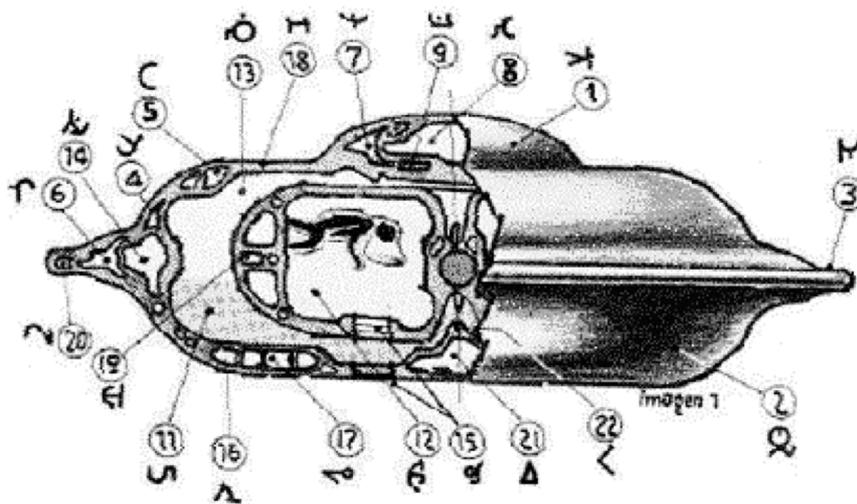


図 10.21 ウンモ星人の UFO の内部構造

https://www.youtube.com/watch?v=e1UC_vkSKrI&t=186s

上面と下面に電子の異なる流れを生み出す。このことから、外部のエーテル流の違いを生じさせる。こうして、反重力を得るというシステムだ。

円盤の外面は自己複製するような内部構造がある。内部の重力は、内部のコックピットが回転することで生まれる遠心力で得る。これは、「2001年宇宙の旅」の人工衛星のような方法である。こういう点からみても、彼らの科学技術はそれほど我々から離れたものではないのだ。

10.10.3 ウンモ星人の家

また、彼らの惑星ウンモにおける居住スペースは、バックミンスター・フラワーのダイマキシオンハウスそっくりなのだ。そのため、我々地球人の物理学者にも理解できる部分が多いのだ。

10.10.4 ウンモ星人の精神性

しかしながら、彼らには地球人にもないもう1つの分野が非常に発達している。それが精神性の面だ。いまの我々の言い方で言えば、彼らはスピリチュアルな人種なのだ。この部分については、私と保江邦夫博士との対談^{*43}の中で語っているので、そちらを参考にさせていただきたい。

ここで、注目すべきことは、一般的に言って、北欧型、金髪碧眼種型の宇宙人は、スピリチュアルのものが多いということだ。長身

^{*43} 保江邦夫/井口和基著「物理で語り尽くす UFO・あの世・神様の世界」(ヒカルランド, 2015年).

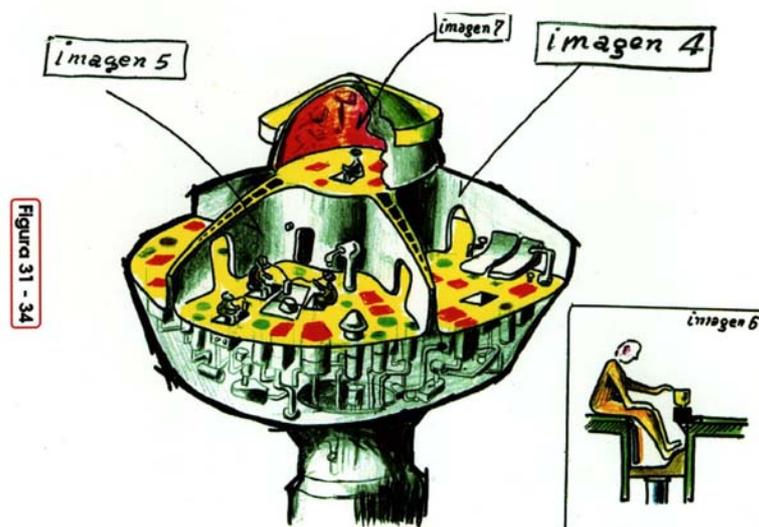


図 10.22 ウンモ星人の家屋の内部構造

<https://wearethemutants.com/2019/02/12/an-immoral-experiment-the-spiritual-political-and-ufological-significance-of-the-ummo-letters/detail-of-typical-ummite-home-1966/>

で色白の西洋人型の宇宙人の一種族が、ロシア政府に協力しているという話だ。このロシアの宇宙人もまたスピリチュアルである。

これは、このタイプの宇宙人は地球の西洋人とコミュニケーションが取れやすく、比較のお互いの共通点や相違点を理解しやすいことが原因かもしれない。なぜなら、彼らには、言語能力が乏しかったり、発語能力に乏しかったりするが、感情そのものは人間に近いものがあるからだ。

それに対して、グレイ型の場合は、人間的な感情を持たない。しかしながら、彼らにスピリチュアルな面がないのではない。そういう精神的能力はきわめて強い。なぜならテレパシーで会話してい

るからだ。ところが、地球人とはコミュニケーションがとりづらい。あまりに見た目や能力に差があるからだ。しかも、大方が3本指だ。

唯一、指が5本や6本のグレイは、地球で進化した2万4千年後、5万4千年後の地球人の場合だけなのだ。

10.11 北欧人型の宇宙人プレアデス人

10.11.1 スイス人ビリー・マイヤー

ビリー・マイヤーを知っているだろうか？

“ビリー”・マイヤーことアルベルト・エドモント・マイヤー^{*44}はスイス人のチャネラー兼コンタクティーだ^{*45 *46}。彼は、幼少の頃から「声」が聞こえるという人物である。ある年齢で宇宙人からの「声」だということが分かるようになる。

その声の主は宇宙人 (Pleiadian=プレアデス星人) だった。しかし、彼はそれとは知らずに大人になるまで、その声の主と交信する。

彼は成人し、いろいろと職を変えるが、傭兵に入り戦地では働く。そこで、足を負傷するが、ピンチの時にいつもその声の主が良いアドバイスをくれた。それで、いつかその声の主に会いたいと願う。

すると、声の主がいつか会おうということになる。彼はその招きに応じる。

^{*44} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ビリー・マイヤー>

^{*45} 「真実の静かなる革命：外宇宙からの UFO と予言」：ビリー・マイヤー物語；
<https://quasimoto.exblog.jp/16348089/>。

^{*46} ビリー・ザ・プレアデシアン：太陽系の時空の旅；
<https://quasimoto.exblog.jp/9823740/>。



図 10.23 ビリー・マイヤー
〈ビリー〉E. A. マイヤー著/フィグ・ヤーパン
訳「地球外知的生命プレアデスとのコンタク
トー宇宙の深遠より」(徳間書店, 2001年)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ビリー・マイヤー>

すると、ビリー・マイヤーの家の付近に UFO で飛来する。しばしば、彼の近所の人たちまでいっしょに UFO を目撃するようになる。彼が UFO を呼んだということが近所で話題になりはじめる。彼は一躍地元の有名人になるのだ。そして彼や多くの人が自分のカメラで UFO を撮影する。こうして、UFO の存在が明らかになり始める。

10.11.2 北欧人そっくりのプレアデス人セムヤーゼ

そして今度、彼は宇宙人の招きに応じて UFO と遭遇するのだ。第三種接近遭遇だ。彼は近所の森の中の広い場所まで行き、そこで UFO と遭遇した。その最初に会った宇宙人は北欧系白人種に見える女性だった。名前はセムヤーゼだった。そのプレアデスから来た



図 10.24 プレアデス人セムヤーゼ
〈ビリー〉E. A. マイヤー著/フィグ・ヤーパン
訳「地球外知的生命プレアデスとのコンタクト
—宇宙の深遠より」(徳間書店, 2001年)
<http://dwcges.blog.fc2.com/blog-entry-69.html>

金髪碧眼の宇宙人セムヤーゼは、見た目はスイスやドイツにいる女性そっくりだった。地球人だと言え、わかるまい。そういう女性に見えた。

10.11.3 プレアデス人の UFO

しかしながら、彼女は非常に多くのことを知っていた。彼はしだいにその宇宙人セムヤーゼと親しくなった。そして彼はついに UFO にのせてもらえる事になった。

彼は彼らプレアデス人からさまざまな歴史や文明を学ぶ。こうして、彼はその体験や聞き知った知識を本にして出版したのだ^{*47}。

その後、彼にはさまざまな人が接触するようになる。我が国からは矢追純一さんが行った。まだ彼が若い時代だ。

なぜなら、ビリー・マイヤーはあのアダムスキー以来のコンタクティーだったからだ。アダムスキーは金星人オーソンと会った。ビリー・マイヤーはプレアデス人のセムヤーゼ^{*48}と会ったのだ。だれもが関心を持つのは明らかだろう。

そして、多くの UFO 研究家がプレアデス人の UFO に関心を持った。彼らはビリー・マイヤーの家へ押しかけ、ビリーが撮影したフィルムを見たり撮影して帰った^{*49}。中には写真を盗んでいったものまでいた。

こうした中で、一番有名になったのが、アメリカ人の UFO 研究家のランディー・ウィンターズ氏だった^{*50}。彼はこの話を聞きつ

^{*47} 〈ビリー〉 E. A. マイヤー著/フィグ・ヤーパン訳「地球外知的生命プレアデスとのコンタクトー宇宙の深遠より」(徳間書店, 2001年).

^{*48} エドアルド・マイヤー著/亀川正敬訳「セムヤーゼ」(翻訳をすすめる会, 1987年).

^{*49} The Billy Meier UFO Chronicles 1/7;
<https://www.youtube.com/watch?v=B2fYsmFXcpE>.

^{*50} Billy Meier Interview with Randy Winters (1 of 8);
<https://www.youtube.com/watch?v=Y7CzJtItLxU>.

けた。そして彼はビリー・マイヤーに接触し、さまざまな話や証拠写真をハンディーカメラで録画したのだ。彼はこの話題をフランス人聴衆の前^{*51}やアメリカ人の聴衆やさまざまな国へ行って講演を行った。こうして、ビリマイヤーのプレアデス人(プレイディアン)という言葉が UFO やオカルト界隈で広がったのだ。

プレアデス人の UFO には窓があった。ビリー・マイヤーはその窓から外を見て、写真をとることができた。さらに、その UFO はタイムマシンにもなった。未来や過去へ行くことができたのだ。

この意味では、プレアデス人の UFO テクノロジーはアダムスキー型円盤よりはるかに進んだものだった。さらに、それは同じ北歐人型宇宙人であるウンモ成人の UFO よりはるかに進んだものだと言える。

10.11.4 プレアデス人の UFO に乗って

セムヤーゼに促されて乗った UFO にはプレアデス人の他の乗組委員がいた。彼らの長老もいて、その長老からさまざまなこの世界の真実を聞かされた。

そして初めての円盤フライト。彼はまるで日本の「浦島太郎」のように、この太陽系の「諸国漫遊の旅」に出て、その都度「写真」を撮って帰る。

まずは月、金星、火星、木星などなどを UFO に乗って旅する。火星では着陸して火星のベース基地の写真を撮る^{*52}。そこにはな

^{*51} The Pleiadian Mission - Billy Meier UFO Case - Pt. 1 of 12;
<https://www.youtube.com/watch?v=jsp6lF4SCKI&list=PL25C953E62E16B157>

^{*52} ここでは火星の空が地球と同じブルーである事に注意。1962年のロシ

ぜかアメリカ国旗もたなびく。なんと火星の周りには米ソの旗のついた人工衛星が回っていたのだ。ビリー・マイヤーは、持っていったハンディーカメラでその写真も撮った。

さらには、地球の「過去」にまで時空を旅し、恐竜時代のブラキオサウルスの写真やプテラノドンの写真を撮ってくる。

10.11.5 プレアデス人の宇宙論

プレアデス人の思想や文明は非常にスピリチュアルである。「空飛ぶ円盤」の推進技術と「テレパシー」などの超心理学的力の双方には共通するものがある。それらは基本的には同じ原理に基づくのだ。

地球上の人類にかぎらず、「人間の精神」はリインカーネーション（生まれ変わり）によって生じると考える。このあたりは、地球人の中ではかなりインドの哲学に近い。あるいは、我が国の仏教や神道の思想に近い。ブルーエイビアンという「一なるものの法則」とも同じである。

10.11.6 プレアデス人の語る地球人類の歴史

ビリー・マイヤーが彼らから聞いた歴史は我々の考えるものとは全く違っている。

地球には、最初は原始的な人類、おそらく猿人しかいなかった。その地球に一番最初に宇宙から飛来した宇宙人の子孫がアジア人型宇宙人である。その子孫がアジア人だったというのだ。

ア＝アメリカ合同の極秘火星着陸の時の映像と一致している。

その次に飛来した宇宙人が黒人型宇宙人だった。そしてその子孫がいまのアフリカの黒人だった。

そして、一番最近に宇宙から飛来した宇宙人が北欧型の宇宙人だ。その子孫がヨーロッパの白人だという。

ところで、このあたりの考え方は、バックミンスター・フラーの哲学や思想にも非常に近いように感じる。なぜなら、フラーはダーウィン進化論に従うリーキー一家の「人類アフリカ起源説」を真っ向から否定したのだ。彼は人類の祖先は宇宙から飛来したイルカと人類の共通の祖先から始まりだと考えたのだ。そして、それがアジアベースで広まったと考えていたからである*⁵³。

10.11.7 SSP の南極のエピソードとの一致

驚くべきことは、このプレアデス人がビリー・マイヤーに伝えた地球人の歴史は、デービッド・ウィルコックのコズミックディスクロージャーの SSP の元メンバーたちが語る南極のエピソードと非常によく似ている。ほとんど一致するとも言えるほどなのだ。

南極の 3 つの地層の中で、一番古い地層で発見された古代ビルダー族は、長身で縦長の頭蓋骨を持つ、アジア人に似た顔貌の宇宙人だった。その次の地層で見つかったものはまだ良くわかっていないようだ。しかし、一番上の新しい地層で見つかったものは、非常に北欧型宇宙人に似ているのだ。

こうしたことから、UFO がタイムマシンを使え、過去へも未来へも行けるというビリー・マイヤーの主張はかなり信憑性が高い

*⁵³ R・バックミンスター・フラー著/梶川 泰司訳「クリティカル・パス—宇宙船地球号のデザインサイエンス革命」(白揚社, 新装版, 2007年).

と言えそうだ。つまり、プレアデス人はハイテク技術で、UFO をタイムマシンに変換できるのだ。

10.12 ロシアの北欧型宇宙人

10.12.1 メドベージェフ大統領の宇宙人暴露

ところで、かつてメドベージェフ大統領の時代、次のような有名なエピソードがあったのを覚えているだろうか？



図 10.25 Dmitrii Anatolievich Medvedev, 1965 年 9 月 14 日 - .
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ドミートリー・メドヴェージェフ>
ロシアも極秘に UFO 調査？ メドベージェフ大統領（当時）が 5 年前に語った「秘密」を振り返る
https://www.huffingtonpost.jp/2017/12/17/ufo-russia_a_23310156/

2012年のメドベージェフ大統領が定例記者会見の時、女性記者が大統領にいろいろ秘密の宇宙人情報について聞いたのだ。しか

し、記者会見のオンエアの最中にはその返答はあいまいだった。記者会見は無事終了しオンエアが消え、カメラマンが席を立った。それでもその女性記者はしつこく宇宙人情報を聞いていたのだ。司会者もまだそこにいた。ところが、オフレコで大統領は気を許したのか、彼がその女性記者を気に入ったのか、彼は次のように言ったのだ。偶然、そのテレビカメラはつけっぱなしになっており、その会話が録音されたのだ*54。

「わかった。これが最初で最後だぞ。君だけに話そう。大統領に就任すると、(核兵器の使用を許可する通信機器の)『核のボタン』と一緒にある特別なファイルを受け取ることになる。表紙には『極秘』と書かれている。それは、地球にやってきた宇宙人に関するものだ。」

女性司会者はニヤニヤするが、メドベージェフ氏の表情は険しい。

「それともう一つ、報告書も受け取る。もちろん、それも完全非公開。何かというと、我が国にいる宇宙人たちを管理している特殊機関のものだ。つまり、大統領は『核のボタン』とともにその2つを前任者から預かるのだ」

メドベージェフ大統領はこうも付け加えた。

「これ以上の詳しい情報を知りたいければ、有名なドキュメンタリー映画『メン・イン・ブラック』を見なさい」

司会者は笑うが、メドベージェフ氏はいっこうに表情を崩

*54 ロシアも極秘に UFO 調査？ メドベージェフ大統領 (当時) が 5 年前に語った「秘密」を振り返る; https://www.huffingtonpost.jp/2017/12/17/ufo-russia_a_23310156/.

さない。

「地球にはどのくらいの宇宙人がいるのでしょうか」。

司会者が問うと、メドベージェフ氏は答えた。

「それは言えない。もしそんなことを明かしたらパニックになるから」

10.12.2 ロシアの SSP のサハロフ博士

どうやらロシアの政府関係筋は、きちんとこのことを理解しているらしい。それで、メドベージェフ大統領がそういったのだ。それはそうだろう。

この本をここまで読んできた人ならもう分かっていると思う。ハリウッド SF 映画の Men in Black(MIB) は非常にリアルなものだということだ。その映画に出てくる宇宙人の姿はいろいろにデフォルメされたり、エピソード化されているが、たくさんの種類の宇宙人が登場する。クリフォート・ストーン博士の「すでに57種類の宇宙人がいる」という意味では、正しいのだ。また、MIB は、アメリカの秘密レベルの最高レベルのコズミックレベルのことで、いわゆるマジスティック12のレベルのことだ。

MJ 12 は1947年のロズウェル時代から1960年代のアイゼンハワー大統領の時代にできた。これがいまでは1万人を超える大組織になっている。これが、コズミックレベルのことなのだ。

この組織には、最初から ACIO^{*55} という立派な名前がついてい

*55 Intelligence Bureau Assistant Central Intelligence Officer.

る。それが、本の中としては初めて「ウイングメーカー」*⁵⁶に登場した。その後、このウイングメーカーは、著者が脅されたせいで、架空の SF 話のようにされて下火になった。しかし、これが再び、スティーブン・グリア博士の著書*⁵⁷に出てくるのだ。このことは、第 8 章 8.1.1 で見た。いずれにせよ、1989 年のミルトン・クーパーの暴露講演が一番正確だと考えられる (第 7 章 7.1)。

現実には、戦後の米ソ冷戦の最中、米ソは表向きには宇宙開発競争をしていると見せかけ、その裏で極秘に宇宙開発の協力をしてきたからだ。その時の米国の UFO 研究のリーダーがエドワード・テラー博士だった。一方のロシアの UFO 研究のリーダーがアンドレイ・ドミートリエヴィチ・サハロフ博士*⁵⁸だったのだ。サハロフ博士は表向きには長期間投獄されていることになっていた。しかし、実際には SSP のロシア支局の長官だった。だから、出獄したことになった瞬間にノーベル賞を得たのだ。エドワード・テラー博士がノーベル賞を得たのも同じ意味だ。SSP(極秘宇宙計画)の地球防衛軍の構築に成功したから、表でも表彰されたのだ。

いかにサハロフ博士の研究が進んでいたかは、上述のプチ博士の本に詳しい。地球人で双子宇宙論や電磁流体力学やプラズマ砲の原理を解明したのは、このアンドレイ・ドミートリエヴィチ・サハロフ博士しかいないのだ。

*⁵⁶ WingMakers LLC/大野 百合子著/shima 訳「ウイングメーカー」(ヴォイス, 2005年).

*⁵⁷ スティーブン・M・グリア編著/廣瀬保雄訳「ディスクロージャー 軍と政府の証人たちにより暴露された現代史における最大の秘密」(ナチュラルスピリット, 2017) 441 ページ。

*⁵⁸ 1921 年 5 月 21 日 - 1989 年 12 月 14 日



図 10.26 アンドレイ・ドミートリエヴィチ・サハロフ博士, 1921 年 5 月 21 日 - 1989 年 12 月 14 日.
<https://ja.wikipedia.org/wiki/アンドレイ・サハロフ>

10.12.3 ロシア政府に協力する北欧型の宇宙人

ロシアにも北欧型の宇宙人がいて、ロシア政府に協力しているという話を聞いたことがあるだろうか？

実は、ロシア政府は北欧型の宇宙人^{*59}の協力を受けて、空飛ぶ円盤の製作や医療などの科学技術を学んでいるようなのだ。この事実が我が国で一番最初に現れたのは、保江邦夫博士の本^{*60} ^{*61}からな

*59 通称、ノルディックと呼ぶ。

*60 保江邦夫著「伯家新党の祝之神事を授かった僕がなぜ」(ヒカルランド, 2013年).

*61 保江邦夫著「神代到来」(海鳴社, 2018年).

のだ。

そこにはロシアのサンクトペテルブルクの研究所で働く高杉博美(たぶん仮名)が出てくる。保江邦夫博士はメカキチ。軍隊や装備やハイテクに興味を持つ素粒子理論物理学者だ。だから、当然円盤や UFO や宇宙人に興味がある。それで、その高杉さんに時間をとってもらい、喫茶店でじっくり彼女にいろいろと聞いたのだ。特に保江先生が、彼女はその研究所で何を担当しているのか聞いたのだ。

すると、高杉博美さんは、自分は円盤には興味はない。でも、スピリチュアルな方に興味がある。それで、彼女は、自分は宇宙人が教えてくれた技術の基づいて目が見えない子どもたちの視力回復するトレーニング法を研究していると答えたのだ。

これは、物理的あるいは生物学的あるいは脳科学的に視力を回復させるということではなかったのだ。まず、盲目の子供に超能力の透視能力をつけさせる。それで、うまく透視ができるようになると儲けもの。自然に視力が回復してくるという方法なのだ。

まさに宇宙人の発想だったのだ。地球人の発想ではない。

ひょっとしたら、この方法は他の病気の治療にも応用可能なかもしれない。たとえば、ガンの末期患者に応用できるかもしれない。

目のまったく見えない子供に、見えるように透視させるということは、言ってみれば、そういうふうに想像させることだ。だとすれば、末期患者には、自分が健康体である姿を想像させる。これができれば、ある意味、透視ができたことになるだろう。それができるようになる頃には体の中の癌細胞が消えているかもしれない。

実際に、我が国でもそうした事例はたくさんあるのだ。末期患者が集まって、自分の最後の時までにはせめてハワイのホノルルマラソ

ンに出て完走しよう。こういう会がある。病院の医者には余命数ヶ月と言われた末期患者が、思い切ってそれに参加する。そうなって、もうすっかり病気のことは忘れて、とにかく自分にできることだけして、ホノルルマラソンを完走することだけを目指す。そうして、ホノルルに行って大会に出て完走する。大会後に日本に帰って身体が大丈夫か検査したら、すっかりガンが消えていた。そんな事例がたくさんあるというのだ*62。保江邦夫先生の本では、それを量子医学と行っているが、実際には唯心論量子医学だろう。これまでの還元論的唯物論医学ではだめなのだ。量子医学に心が入らないと効果ないのだ。

ロシアのスピリチュアルな宇宙人は我々地球人にそういう新しい別の方法を教えているのかもしれない。

このロシアの宇宙人の思想や考え方は、どこかしらあのロシアのメタトロンの装置やそのプログラムにいかされているような感じがするのだ。なぜなら、メタトロンには、感情に関する固有周波数のデータまである。

たとえば、悪い感情の周波数と良い感情の周波数がある。悪い周波数に支配されているときには、それを検波し、別の良い感情の周波数を送る。すると、本当にところが晴れやかになる。

10.12.4 ロシアの円盤作製法「ロシア円盤浮上せり！」

その高杉博美さんの話から分かったことは、空飛ぶ円盤を作るためにスピリチュアリズムがいかに大事かということだ。

*62 保江邦夫/小林正学著「量子医学の誕生/がんや新型ウィルス感染症に対する新物理療法への誘い」(海鳴社, 2020年).

はじめロシア軍の開発者やエンジニアたちは、円盤を作るに当たって宇宙人からもらった設計図どおりに普通にロシア軍の航空機を制作するようにして作った。ところが、確かに形は円盤になったが、この円盤には“心”や“魂”が入らなかった。日本で言う、入魂していなかったのだ。だから、全く機能しなかった。

そこで、ロシアの森に代々住むという伝説のロシアのスピリチュアルな人々がいる。彼らは、その能力で未来を予知し、災害を予知する。そうやって生き延びてきた。その彼らにロシア軍の円盤を作ってもらったのだ。すると、やっぱりその円盤には“心”や“魂”が入っていたというのだ。だから、この森の人々の制作した円盤は機能し、浮き上がったのだ。「ロシア円盤浮上せり！」だ。

このように、昔の日本古来の伝統になるように、ものにも魂が宿る。自然には霊が宿る。この精神が大切なのだ。

日本人はどのスポーツでも、ピッチやグラウンドやコートなどの試合会場の出入りの時、その場に心からお辞儀をする。これを行うのは、いまもって日本人だけだ。他のアジア人、西洋人もだれもしない。彼らはピッチに感謝するのではなく、上を見て神に感謝するだけだ。神は天にいるが、ピッチにはいない。

だから怪我をする。逆に日本人は小柄で不利ながらもいつも健闘する。歴史に名を残すような名勝負を行うことが多い。

どうやらここにまだ地球人には未知のものが残されているらしいのだ。それが、ピート・ピーターソン博士がいった。「父と子と精霊」という言葉の意味だと。三位一体。3の数学。ここにこの宇宙の秘密があるのだ。

物質と精神(心)と魂(霊)

我々の科学では、これを安直に

物質とエネルギーと情報

と置き換えてしまった*63。

地球人の岡潔博士や山崎弁栄上人や山本空外上人がかつて日本人に教えたように、ロシアの宇宙人、ウンモの宇宙人、彼らは心がみな繋がっている。そういうもう1つの世界があると主張するのだ。

ところが、いまの地球人は、そういう脳力はないと錯覚している。代わりにそれを電子回路スマホを使ってG5ヘルツ波の横波電波でインターネットでやろうとしているだけなのだ。さらに、脳内にマイクロチップを埋め込んで、スピリチュアルの発露の頭頂葉の代わりにさせようと目論む。

最初から、我々の脳には松果体*64がある。遠い昔、これは頭の天辺で宇宙を感知する器官だったものだ。第三の目だったのだ。それゆえ頭頂眼といわれる。

まさに本末転倒だ。すでにそういう能力が人には備わっているのに、なぜ電子機器にこだわる必要があるのだろうか？

10.12.5 ロシアの円盤操縦法

さて、そのロシアの円盤はどのように操縦するのだろうか？

この話もまた、保江邦夫博士の本*65にある。

高杉博美さんによれば、ロシアのノルディック型宇宙人は、3本

*63 しかしながら、私が知る限り、T. ストウニア博士だけは例外だ。T. ストウニア著/立木教夫訳「情報物理学の探求」(シュプリンガー・フェアラーく東京, 1992年).

*64 <https://ja.wikipedia.org/wiki/松果体>

*65 保江邦夫著「伯家新党の祝之神事を授かった僕がなぜ」(ヒカルランド, 2013年).

指のグレイ型宇宙人同様に、精神感応で UFO を操縦するというのだ。いまロシア人宇宙飛行士たちが宇宙人から円盤の操縦を学んでいるらしいのだ。

日本の自動車教習所では、横に教官が乗り、すべてをチェックしながら免許を取得する生徒の運転を指導する。危ない場合は、横の教官がハンドルを取り、ブレーキを踏む。それと同じように、ロシアの宇宙人が円盤の教官になり、ロシアの空軍パイロットがロシアの円盤を運転する。そして、危ない場合は、宇宙人がハンドルをアシストし、ブレーキをかけるのだ。

しかしながら、いまはまだ彼らは教習所内を運転レベルのようだ。ロシア人の精神レベルではすぐに頭が疲れてしまい、5分もたないらしい。

はたして免許皆伝はいつになるのだろうか？

10.13 アメリカの宇宙人

10.13.1 いまアメリカに何種類の宇宙人がいるのか？

はたしてアメリカ合衆国にはどれほどの宇宙人が協力しているのだろうか？

これについては、スティーブン・グリア博士の著書^{*66*67*68}から

*66 スティーブン・M・グリア編著/廣瀬保雄訳「ディスクロージャー 軍と政府の証人たちにより暴露された現代史における最大の秘密」(ナチュラルスピリット, 2017) 441 ページ。

*67 謎の遺跡「ウィングメーカー」とは何か？：サイケデリックな文明！？；
<https://quasimoto.exblog.jp/15573199/>.

*68 謎の遺跡「ウィングメーカー」とは何か？ 2：事の起こり、ACIO からの脱

部分的に分かる。あるいは、デービッド・ウィルコックの「コスミック・ディスクロージャー」から分かるだろう。

アメリカは他のどの国とも異なる。第7章に書いたように、アメリカの場合は、宇宙人との交流は戦時中の1942年の第二次世界大戦中のUFO飛来事件からだ。カリフォルニア上空やホワイトハウス上空をUFOの大群が飛来した。そして、戦後の1947年に

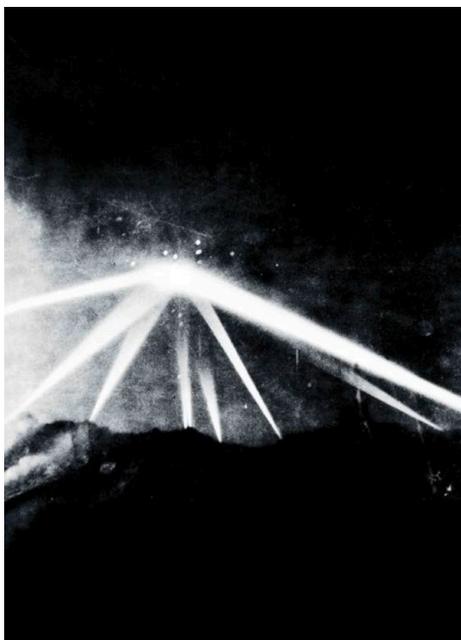


図 10.27 1942 年 2 月 25 日 サン
タモニカ上空に飛来した UFO 大群
https://www.excite.co.jp/news/article/Rocketnews24_75285/

有名なロズウェル事件が起こる。アメリカ政府の宇宙人との交流は、その頃が起点のようだ。ひょっとしたら、ニコラ・テスラの時代からかもしれない。

まず最初に米国政府に会見を求めたのは、欧米人型の米白人種

そっくりの宇宙人だった。これが米国上空に飛来し大騒動になったUFOの一族だ。彼らは、核戦争の放棄を望んだ。スピリチュアルな宇宙人だった。

その次が、ニコラ・テスラ時代の電波広告のせいで、地球の存在を知った宇宙人たちの来訪だ。大半が3本指のグレイ型宇宙人だった。その最初がロズウェル事件の前後である。大半の墜落円盤の宇宙人がグレイ型だったのだ。主に小鼻のショートノーズグレイという種族だ。

1960年代のアイゼンハワー大統領になると、今度は、かなり陰険で邪悪なロングノーズグレイがやってきた。これがアイゼンハワーと会見したのだ。当時、アレン・ハイネック博士は、その宇宙人との会見計画の米軍書記官の一番下っ端だった。彼はその一部始終を記録し報告したのだ。ハイネック博士が後にそれをスティーブン・スピルバーグ監督に教えた。ハイネックの指導の下に、かなりリアルにその会見を映画化したものが、「未知との遭遇/第三種接近遭遇」だ。

そして、その映画のとおり、円盤に乗り込んだ16人ほどの若い米軍兵の中の1人が、ピート・ピーターソン博士だったのだ。彼らは、まさに米軍の勝海舟であり、ジョン万次郎、あるいは、山川健次郎や新島襄だったのだ。

10.13.2 ACIO

その頃に、MJ12 や SSP*⁶⁹ができた。この SSP は地球防衛軍だ。ロシア代表がアンドレイ・サハロフ博士、アメリカ代表がエドワード・テラー博士。この時期の全体構造は、ビル・クーパーが暴露した「影の政府」だ (第7章)。だから、米ソ冷戦の最中、極秘研究をお互いに協力していた。米ソはこの時期にすでに、月、火星、木星、土星などへ行っている。

当時、ヘンリー・キッシンジャー博士はハーバード大の若手の新進気鋭大学教授だった。その彼がそのメンバーに抜擢された。すると、彼は急速に人が変わって行った。その変化の最中で、彼は良妻とも離婚した。そして、単なる大学教授からアメリカの世界支配の最前線の政治顧問になっていくのだ。まさに我が国で言えば、竹中平蔵のようなものだ。最近マイクロソフトのビル・ゲイツ氏が急速に人が変わっていった。そして、ヘンリー・キッシンジャーのように離婚した。彼が、同じ路線を行っているは誰の目にも明かだろう。

アメリカの場合は、RCA がある。RCA はニコラ・テスラの電波技術の完全管理のために生まれたものだ。これは戦前までの最新科学技術であった電波技術を管理していた。しかし、戦後、その一部が CIA になった。今度はそれが宇宙人情報と円盤情報を完全管理する部門へと進化したのだ。この中でも実際に宇宙人と接触できるハイレベルがマジスティックレベルというもなのだ。

*⁶⁹ Secret Space Program

そこに、ACIO という組織がある。いまは職員 1 万人以上の大組織だ。ここに MIB がいる。

10.13.3 ホワイトトール

そして、ここにホワイトトールという背の高いグレイ種族がいる^{*70}。このタイプの宇宙人は、本としては、「ウイングメーカー」^{*71}に登場する。そこでの名前は「コルテウム」だった。このタイプの宇宙人は、映画としては、やはり内部のインサイダーであるスティーブン・スピルバーグ監督の「インディ・ジョーンズ/クリスタル・スカルの王国」^{*72}に登場する。この種族が、米兵の天才の知能をさらにアップするテクノロジーを持っている。脳の松果体に作用させるのだ。そうやって知能強化した米軍の科学者と宇宙人が共同研究するのだ。完全秘密だから、ここから情報が漏れることはない。こういったアメリカのエリア 5 1 などの秘密の組織のメンバーになると経済的にはやたらと恵まれる。

この事実を暴露したのが、我が国民で唯一人グレイ型に会った鈴木竜成氏だ^{*73*74}。秘密保持の契約の下、非常に高い給料をもらえ

^{*70} 仰天ニュース 2 ! ? : 「アメリカはトールホワイト・エイリアンの支配下にある」 ! ? ; <https://quasimoto.exblog.jp/21578122/>

^{*71} WingMakers LLC/大野 百合子著/shima 訳「ウイングメーカー」(ヴォイス, 2005年).

^{*72} <https://ja.wikipedia.org/wiki/インディ・ジョーンズ/クリスタル・スカルの王国>.

^{*73} 鈴木竜成/竹本良著「宇宙人の枢—日本人脳外科医が衝撃の告白!」(明窓出版, 1997年).

^{*74} 木竜成の「宇宙人の枢」: その宇宙人はロズウェル事件のエイリアンだった! ; <https://quasimoto.exblog.jp/20487214/>.



図 10.28 ホワイートロール宇宙人
<http://neneko1124.blog.fc2.com/blog-entry-4477.html?sp>

る。だから、彼はランボルギーニを乗り回していたのだ。

そのような状況から、いま現在のアメリカには、数種類のグレイ種族、数種類のレプティリアン種族、1～2種類のノルディック種族が協力しているようだ。

そのそれぞれが、独自の場所で自分たち用の研究所を持っている。なぜなら、宇宙人ごとに出自に関係した来訪の目的がある。その研究のために地球へ来たからなのだ。

一方、米軍は、それぞれの種族から自分たちの欲しい情報や科学技術を得る。それを米軍専用の研究所で、リバース・エンジニアリングで自分たちのものにする。米軍の SSP は、こういうことを戦後ずっと行ってきたのだ。

しかしながら、地球人が文明化するはるか以前から、多くの宇宙種族は我が地球を訪れている。

10.14 アメリカができる前に来た宇宙人ウィングメーカー

ウィングメーカーという言葉を知っているだろうか？

これは、アメリカのアサナジ溪谷で見つかった宇宙人のことを意味する。地球人が文明化するはるか以前から、多くの宇宙種族は我が地球を訪れている。アメリカでは、アメリカ合衆国ができるか以前に宇宙人が訪れた痕跡が見つかるのだ。

その一つが、ウィングメーカーに登場する宇宙人の遺跡だ^{*75}。この宇宙人の遺跡は、アナサジインディアンの居住区域内にあるアナサジ溪谷で見つかった^{*76}。

そこで、アナサジ遺跡^{*77}と名付けられたのだ。この遺跡の地下に見たことのない地下基地があったのだ。

そこは、24の区画が螺旋階段のように並んでいたのだ。これは人間の染色体が24本の対からできていることに対応していた。そして、面白いのは、各部屋の壁には、非常にサイケデリックでスピリチュアルな絵が張られていたのだ。

この宇宙人は、非常にスピリチュアルだった。この思想を当時そこにいたアメリカ原住民アナサジインディアンに知らせた。当時の原住民とは、ホピ族とか、ネーティブインディアンのことである。

^{*75} 仰天ニュース2！？：「アメリカはトールホワイト・エイリアンの支配下にある」！？；<https://quasimoto.exblog.jp/21578122/>

^{*76} 謎の遺跡「ウィングメーカー」とは何か？ 5：天才言語学者ネルダ博士；<https://quasimoto.exblog.jp/15596800/>.

^{*77} Anasazi



図 10.29 アナサジ溪谷

<https://quasimoto.exblog.jp/15573199/>

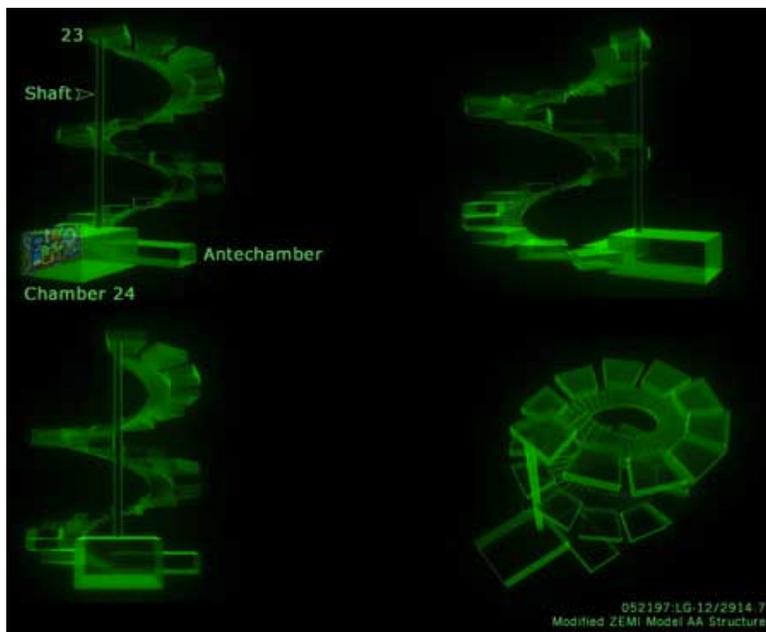


図 10.30 アナサジ宇宙人の地下基地

<https://quasimoto.exblog.jp/15573199/>

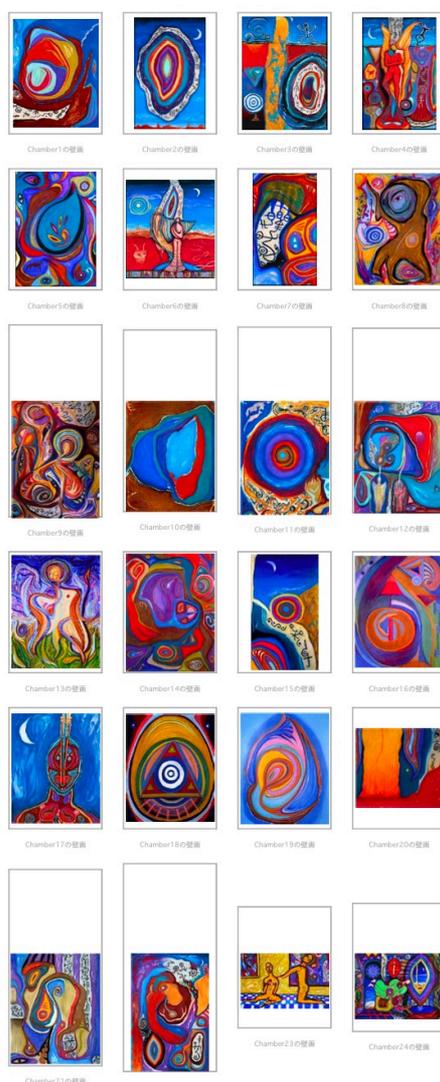


図 10.31 アナサジ宇宙人のアート

<https://quasimoto.exblog.jp/15573199/>

だから、インディアンには、そういう時代の名残が残る。

ウィングメーカーには、はっきりとその時代の来訪者である宇宙人が誰だったかまでは書いていない。おそらく、インディアンが鳥を神に祀ったことから、ブルーエイビアンのような鳥頭系の宇宙人だろうと思われる。だから、同じ鳥に関連の多い我が国の神道とは共通項が見られるのだ。

このウィングメーカーという本に描かれているように、こうした発見が最初一般人によって行われたとしよう。そういう場合、一番最初にやってくるのがアメリカの諜報活動員が、ACIO の職員、つまり、MIB なのだ。この意味で、ウィングメーカーの内容は大筋で現実を描いたものと考えられるのだ。またハリウッド SF 映画の MIB もかなり現実を描いていると考えてよいだろう。

まさに、ロシアのメドベージェフ氏の言った通りなのだ。なぜなら、いままではまったく同じ内容や対応する内容が、スティーブン・グリア博士の「ディスクロージャー」やデービッド・ウィルコックの「コズミック・ディスクロージャー」から出ているからなのだ。

こうして、今現在のアメリカでは、かなり種類の宇宙人がアメリカの軍隊の研究者たちと協力しているのだ。それは、単に反重力開発だけではない。それが、第7章で見た通りだったというわけなのだ。